

令和2年度着手
令和7年度(変更第1回)

県営土地改良事業計画概要書

(防災ダム事業)

う つ み
内 海 地 区

目 次

【県営土地改良事業計画の変更事項】	1
【I】土地改良事業計画の概要	3
第1章 目 的	3
第1節 事業の種類	3
第2節 事業の目的	3
第3節 関係地積	3
第2章 地域の所在及び現況	3
第1節 地 域	3
第2節 地 積	3
第3節 現 況	4
1 地域及び土質等	4
2 水利状況	4
3 道路状況	4
4 営農状況	4
5 地域環境の概況	4
第3章 基本計画	5
第1節 農業用排水施設整備(用水)	5
第2節 農業用排水施設整備(排水)	5
第3節 区画整理	5
第4節 暗きょ排水	5
第5節 環境配慮	5
第4章 工事又は管理の要領	6
第1節 工 事	6
第2節 管理の要領	6
第5章 換地の要領	6
第6章 費用の概算	6
第7章 効 用	7
第8章 他の事業との関係	7
第9章 計画概要図	7

【Ⅱ】 県営土地改良事業によって造成される土地改良施設の予定管理方法 . . .	58
【Ⅲ】 県営土地改良事業（内海地区）における事業費及び事務的経費の 負担区分の予定並びに地元負担の予定基準 . . .	59

【県営土地改良事業計画の変更事項】

○変更の内容

変更事項	変更前	変更後	増減	備考
受益面積	13.7 ha	12.2 ha	△ 1.5 ha	編入：－ 除外：1.5ha
事業量	3 池	3 池	－	変更なし
地震対策工				
西池田池	上流： 押さえ盛土 85.3m 下流： 地盤改良 56.0m 改良土置換 56.0m	上流： 押さえ盛土 75.9m 地盤改良 60.0m 下流： 地盤改良 64.9m 改良土置換 71.4m		
下別所池	上流： 押さえ盛土 65.0m 下流： 押さえ盛土 42.0m	上流： 押さえ盛土 57.4m 地盤改良 48.5m 下流： 地盤改良 38.1m		
阿麻池	上流： 地盤改良 65.0m 改良土置換 65.0m 下流： 地盤改良 52.0m 改良土置換 52.0m	上流： 遮水シート工法 +改良土置換 96.4m +地盤改良 53.2m 下流： 地盤改良 49.0m +改良土置換 49.0m		
洪水吐工				
西池田池	正面越流型： 堰長 8.2 m 1箇所	側水路型： 堰長 8.7 m 1箇所		
下別所池	側水路型： 堰長 10.8 m 1箇所	側水路型： 堰長 11.2 m 1箇所		
阿麻池	正面越流型： 堰長 6.4 m 1箇所	正面越流型： 堰長 6.5 m 1箇所		
取水施設工				
西池田池	斜樋 1 基 取水孔 φ100×4 底樋 φ800 L=27.2m	斜樋 1 基 取水孔 φ100×4 プレキャスト底樋 φ800 L=30.7m		
下別所池	斜樋 1 基 取水孔 φ150×6 底樋 φ800 L=54.2m	斜樋 1 基 取水孔 φ150×6 プレキャスト底樋 φ800 L=36.5m		
阿麻池	斜樋 1 基 取水孔 φ100×4 底樋 φ800 L=34.8m	斜樋 1 基 取水孔 φ100×4 プレキャスト底樋 φ800 L=33.6m		
緊急放流工				
西池田池	1箇所	1箇所		
下別所池	1箇所	1箇所		
阿麻池	1箇所	1箇所		
事業費	558,800 千円	1,309,000 千円	750,200 千円	134.3 %増

※ 自然増 81,400 千円

○変更を必要とする理由

・事業面積の変更

太陽光パネル設置、宅地化等による受益地の減少により 1.5ha 除外する。

・事業費の変更

本地区は、耐震性向上を目的とした堤体改修を行っている。
今回、以下の理由による工事費用の増等により、事業費が大幅に増加することとなった。

・堤体工（西池田池）

土質試験の結果、地盤支持力の不足が発覚したため、地盤改良を増加した。

・堤体工（下別所池）

東海農政局通達 元農振第2806号 「フィルダム及びため池における堤体下流斜面の安定計算について」に準拠して計算を行った結果、及び経済性を考慮し、地盤改良が必要となった。

・堤体工（阿麻池）

地質調査を実施した結果、既設刃金土が定数より脆弱であったため、ベントナイトシート工法＋前面浅層改良に変更した。及び前出農振第2806号通達により、地盤改良規模を増加した。

・洪水吐工（西池田池・阿麻池）

比較検討の結果、洪水処理能力及び安定性を増加させるため、地山への設置に変更した。これに伴い施工延長、減勢部の構造及び堰幅を変更した。

・洪水吐工（下別所池）

設計精査の結果、現況利用が不可能なため、接続水路を改修することとした。

・取水施設工

(3池共通)

当初は現場で底樋を打設する計画だったが、施工期間が長くなり水利用に支障をきたすため、工期短縮のためにプレキャスト底樋管へ変更した。

・仮設工（西池田池・下別所池）

詳細測量の結果、現道利用が不可能なため、新たな進入路を設置するものとした。

・仮設工（阿麻池）

地元調整の結果、当初想定していた処分地での残土処理が不可能になったため、産業廃棄物処理及び仮設土砂の処分費を計上するものとした。

以上の変更により、事業費の変動額が土地改良法上の変更要件に該当したため事業計画の変更を行う。

【I】土地改良事業計画の概要

第1章 目的

第1節 事業の種類

県営防災ダム事業
(土地改良法第2条第2項第1号の農業用排水施設整備(用水))

第2節 事業の目的

内海地区は、西池田池、下別所池、阿麻池の3つのため池があり、かんがい用のため池として重要な役割を果たしている。しかし、本ため池において、耐震調査を行い堤体の安定性を確認したところ、地震時の安定性が不足していることが確認されたほか、洪水吐の排水能力不足でもあった。このため、堤体及び取水施設の耐震補強、洪水吐の改修を実施し、地震や異常洪水時にため池が決壊した場合の農地、農作物、農業用施設、公共施設等への被害を未然に防止する。

第3節 関係地積

(単位:ha)

時点 \ 地目	田	畑	樹園地	小計	市街地・その他	計
現況	(12.5) 11.1	(1.2) 1.1	—	(13.7) 12.2	—	(13.7) 12.2
計画	(12.5) 11.1	(1.2) 1.1	—	(13.7) 12.2	—	(13.7) 12.2

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域

知多郡南知多町 地内

第2節 地積

(令和2年1月)
令和7年6月現在 (単位:ha)

現況地目 \ 市町村名	田	畑	樹園地	小計	市街地・その他	計	備考
知多郡	(12.5)	(1.2)	—	(13.7)	—	(13.7)	南知多町 受益地資料
南知多町	11.1	1.1	—	12.2	—	12.2	
計	(12.5) 11.1	(1.2) 1.1	—	(13.7) 12.2	—	(13.7) 12.2	

第3節 現 況

1 地域及び土質等

本地区は、南知多町の北西部に位置する農業用ため池であり、かんがい区域は平均勾配1/100から1/1000程度の水田及び畑地帯である。

土質は、砂～壤質で青灰色の西小塚-2で形成されている。

気象は、年平均気温15℃程度、年間降水量は1,500mm程度である。

2 水利状況

西池田池、下別所池、阿麻池の3つの池は農業用のかんがいため池として重要な役割を担っている。

集水面積は3つの池の北側の76.8haの山林である。

(12.5) (1.2)

かんがい受益地は南側の水田11.1haと畑1.1haであり、開水路により用水供給されている。

3 道路状況

本池の西側に国道247号線が海岸線に沿って南北に延びており、東側の半島の中央には南知多道路が貫通している。これらの幹線道路を中心に、受益地内に整備された県道及び農道が農作物の輸送道路及び日常の生活道路として兼用されている。

4 営農状況

(0.52) (1.10) (0.44)

南知多町の一戸当たりの平均営農規模は、水田0.62ha、畑0.98ha、樹園地0.30ha (2.06)

の計1.90haで、水稻を基幹作物としている。(20)

また、南知多町の主業、副業的農家別では、主業農家28%、準主業農家15%、副業 (52) (2015)

的農家57%である。(2020年世界農林業センサス)

5 地域環境の概況

南知多町は、愛知県の知多半島南部に位置し半島の先端と沖合いに浮かぶ篠島・日間賀島などの島々からなっている。本町はほぼ全域が三河国定公園及び南知多県立自然公園に指定されるなど、優れた自然景観に恵まれており、本地区も本町において貴重な自然資源であるため、これらを保全する。

第3章 基本計画

(13.7)

本事業の受益面積は12.2haである。

(単位:ha)

事業名	田	畑	樹園地	その他	計
県営防災ダム事業 (農業用排水施設整備〔用水〕)	(12.5) 11.1	(1.2) 1.1	—	—	(13.7) 12.2

第1節 農業用排水施設整備(用水)

内海地区(西池田池、下別所池、阿麻池)は、地域農業の用水源として重要な役割を果たしている。しかし、堤体や取水施設の耐震性不足、洪水吐の能力不足等により安全性が損なわれており、決壊した場合は農地、農作物、農業用施設、住宅及び公共施設等へ被害が生じる恐れがある。このため、堤体の補強及び洪水吐、取水施設の改修を行うことにより、農業用水の安定供給を図るとともに、ため池決壊による被害を未然に防止する。

第2節 農業用排水施設整備(排水)

該当なし

第3節 区画整理

該当なし

第4節 暗きょ排水

該当なし

第5節 環境配慮

本地区は、田園環境整備マスタープランにおいて、環境配慮区域となっているため、工事施工時において、生息する希少動植物の影響緩和を図るとともに、ため池に生息する魚類等については、外来種を除き近傍の池に移動させる。また、併せて濁水・土砂の流出を防止する。

第4章 工事又は管理の要領

第1節 工 事

工事は、県営防災ダム事業 内海地区として、

ため池	3箇所（西池田池、下別所池、阿麻池）
地震対策工	一式
取水施設工（緊急放流工）	一式
洪水吐工	一式

を施工する。

予定工期

着 手	令和2年度 (9)
完 了	令和13年度 予定

第2節 管理の要領

県営防災ダム事業 内海地区により改修されるため池施設、及びこれに付帯する施設は、南知多町が管理する。

第5章 換地の要領

該当なし

第6章 費用の概算

(単位:千円)

事業名	事業費※1)	事務的経費※2)	合計
県営防災ダム事業	千円	千円	千円
(農業用排水施設整備〔用水〕)	(522,000)	(36,800)	(558,800)
	1,247,000	62,000	1,309,000

(平成30年度及び令和元年度)

(令和6年度及び令和7年度単価。消費税は10%にて算定。ただし、物価変動により将来変動することがある。)

※1) 事業費とは、土地改良事業に要する費用のうち事務的経費を差し引いた費用

※2) 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費

第7章 効 用

(単位：千円)

区分 効果項目	年総効果 (便益)額	年増加 農業所得額	備 考
維持管理費節減効果	(△162) △ 183	0	
災害防止効果 (農業関係資産)	(19,205) 23,918	(19,205) 23,918	
災害防止効果 (一般資産)	(208,412) 328,756	—	
災害防止効果 (公共資産)	(1,485) 2,249	—	
計	(228,940) 354,740	(19,205) 23,918	

<参考>

① 総費用		(512,776)	
② 当該事業（現在価値化）	:	1,239,584	千円
		(423,038)	
③ その他費用（現在価値化）	:	1,181,319	千円
		(89,738)	
※関連事業費＋資産価格＋再整備費	:	58,265	千円
④ 年償還額	:	—	千円
		(228,940)	
⑤ 年総効果(便益)額	:	354,740	千円
		(4,452)	
⑥ 現況年総農業所得額	:	4,467	千円
		(19,205)	
⑦ 年増加農業所得額	:	23,918	千円
		(48)	
⑧ 評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	:	52	年
⑨ 割引率	:	0.04	
		(3,309,937)	
⑩ 総便益額(現在価値化)	:	5,546,859	千円
		(6.45)	
⑪ 総費用便益比 = (⑩÷①)	:	4.47	≥ 1.00
⑫ 総所得償還率 = (④÷⑥)	:	—	%
⑬ 増加所得償還率 = (④÷⑦)	:	—	%

第8章 他の事業との関係

該当なし

第9章 計画概要図

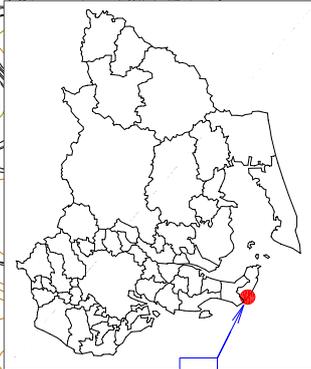
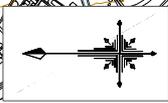
別紙のとおり

令和2年度 新規採択希望 農村地域防災減災事業 ため池整備事業 [ため池総合整備工事 (地震・豪雨対策型)] (大規模)

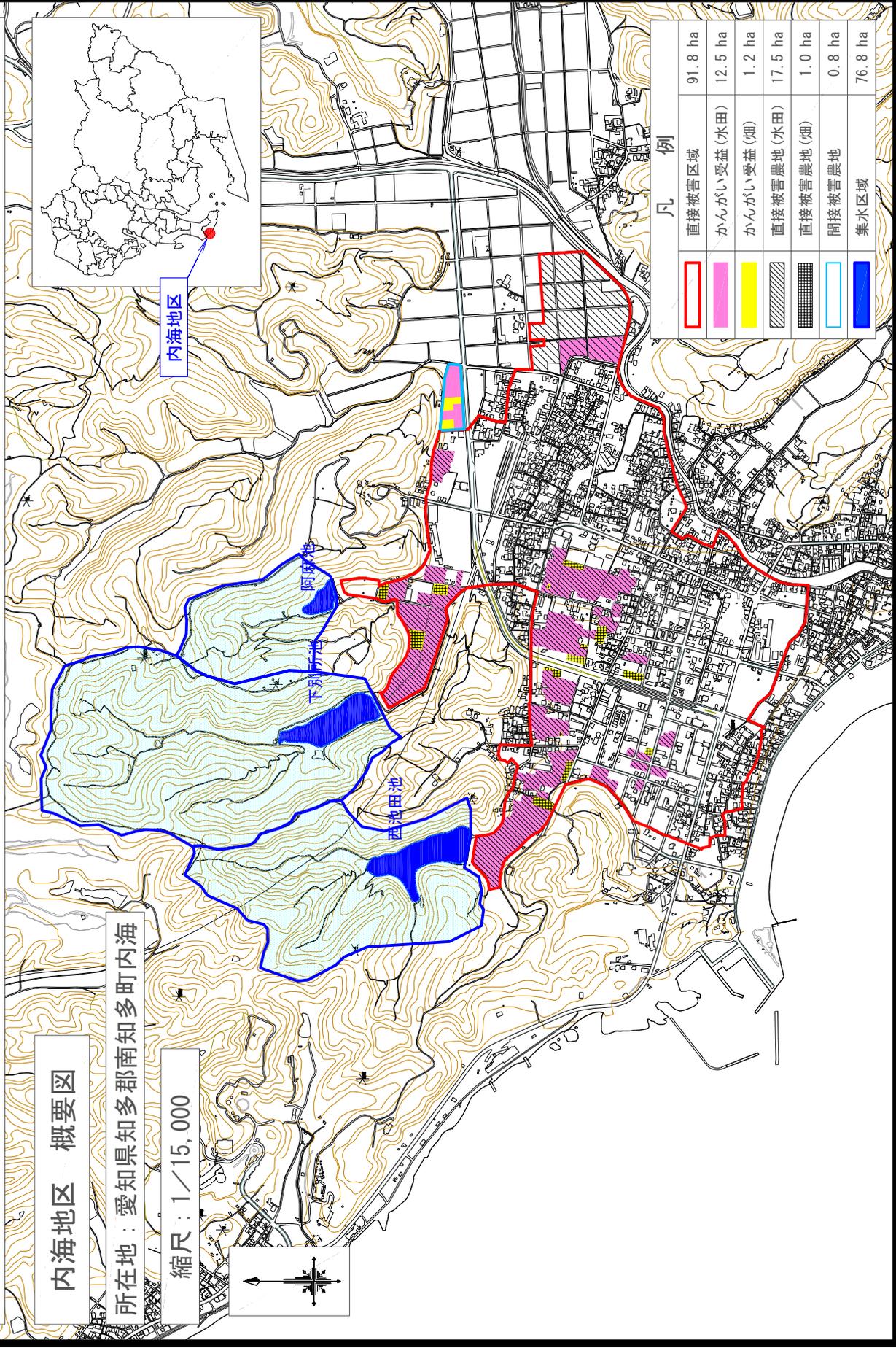
内海地区 概要図

所在地：愛知県知多郡南知多町内海

縮尺：1/15,000



内海地区



凡例

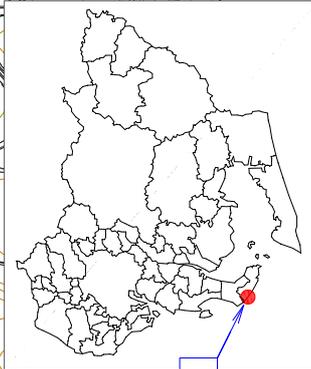
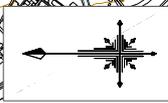
	直接被害区域	91.8 ha
	かんがい受益(水田)	12.5 ha
	かんがい受益(畑)	1.2 ha
	直接被害農地(水田)	17.5 ha
	直接被害農地(畑)	1.0 ha
	間接被害農地	0.8 ha
	集水区域	76.8 ha

令和7年度 計画変更 農村地域防災減災事業 ため池整備事業 [ため池総合整備工事 (地震・豪雨対策型) (大規模)]

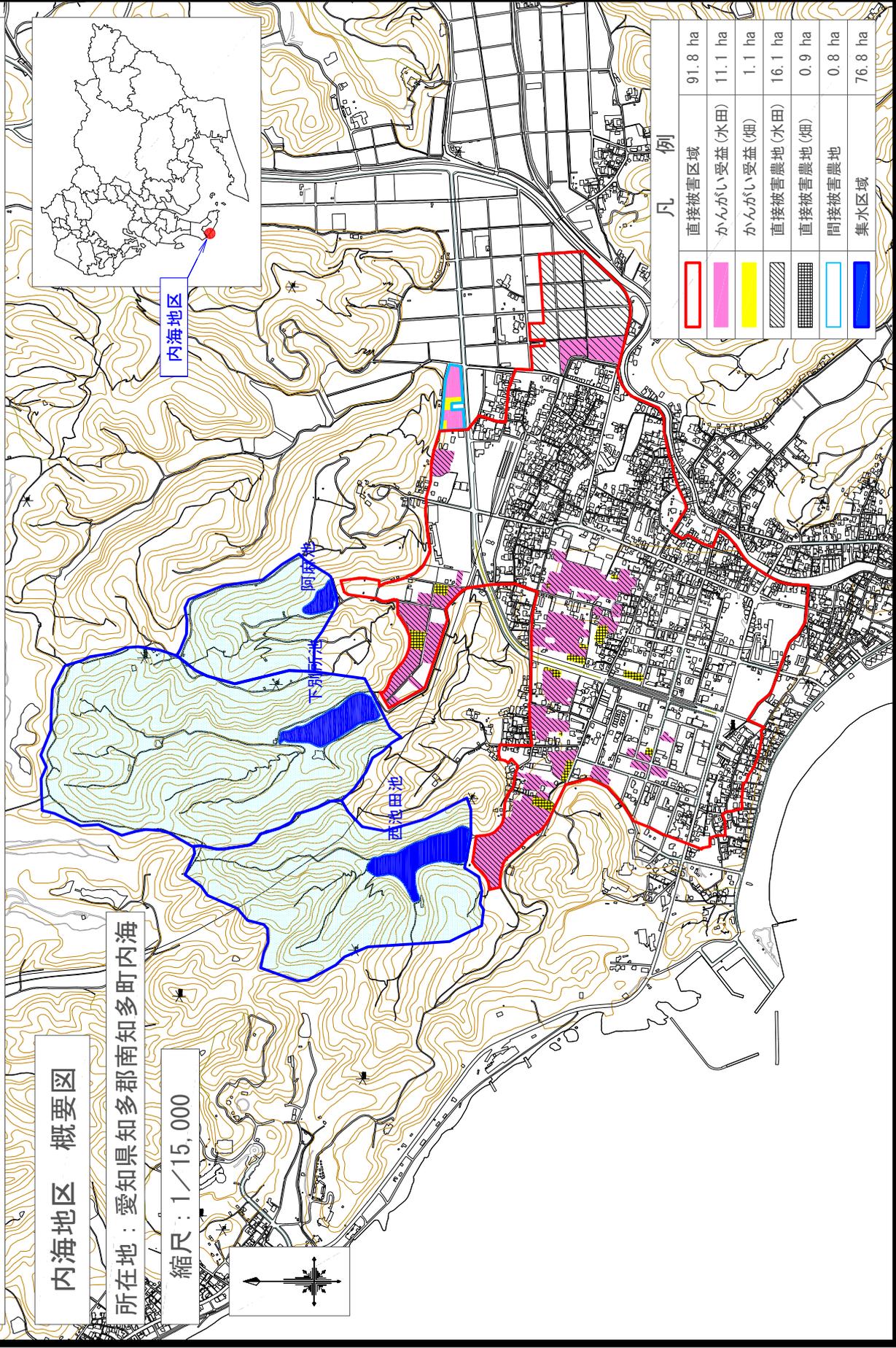
内海地区 概要図

所在地：愛知県知多郡南知多町内海

縮尺：1/15,000



内海地区



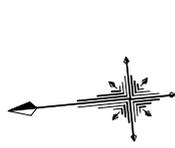
凡例	
	直接被害区域 91.8 ha
	かんがい受益(水田) 11.1 ha
	かんがい受益(畑) 1.1 ha
	直接被害農地(水田) 16.1 ha
	直接被害農地(畑) 0.9 ha
	間接被害農地 0.8 ha
	集水区域 76.8 ha

1 西池田池 変更前

1 西池田池 変更後

計画平面図

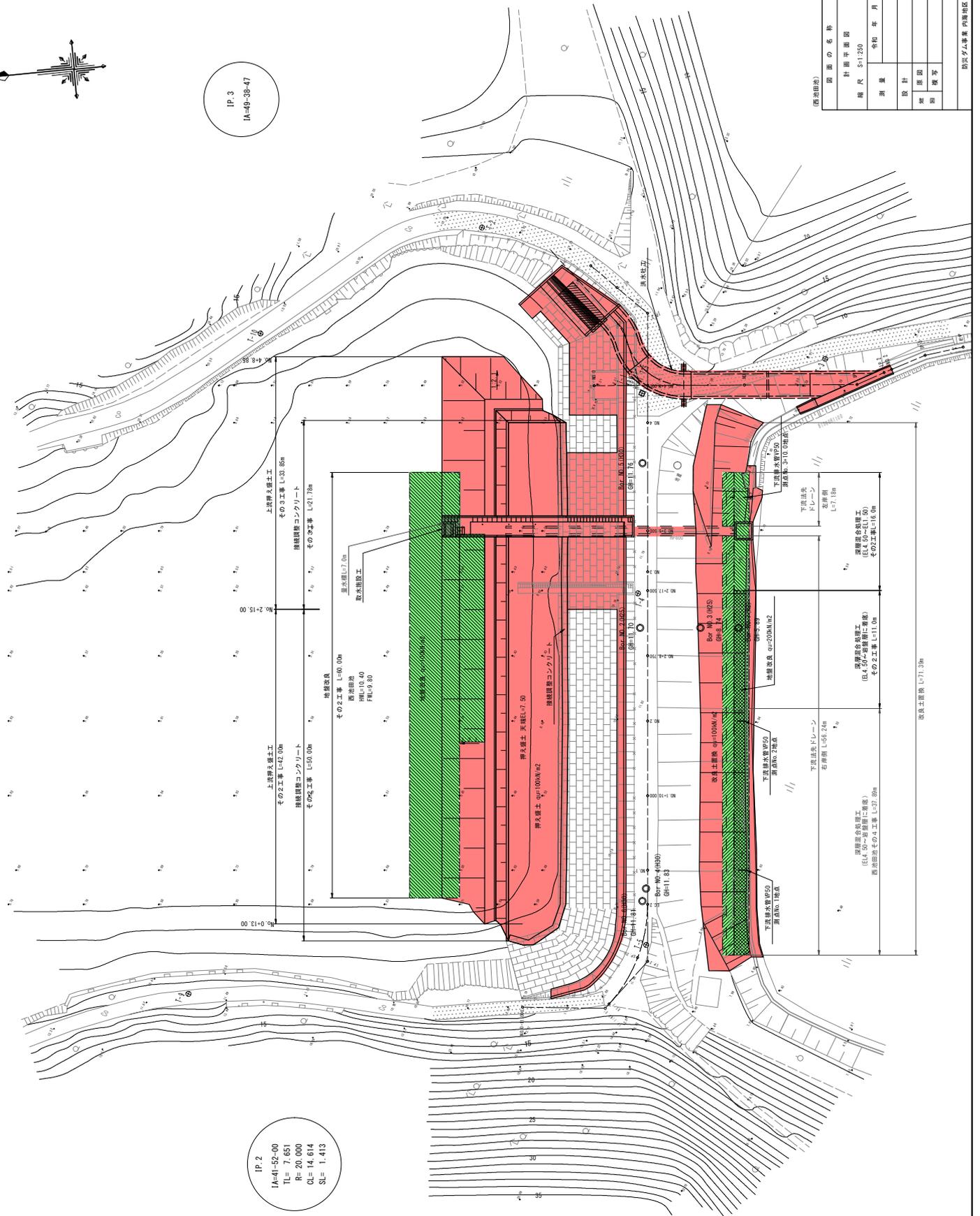
8:1/250



IP. 1
IA=48-56-03

IP. 2
IA=41-52-00
TL= 7.651
R= 20.000
CL= 14.614
SL= 1.413

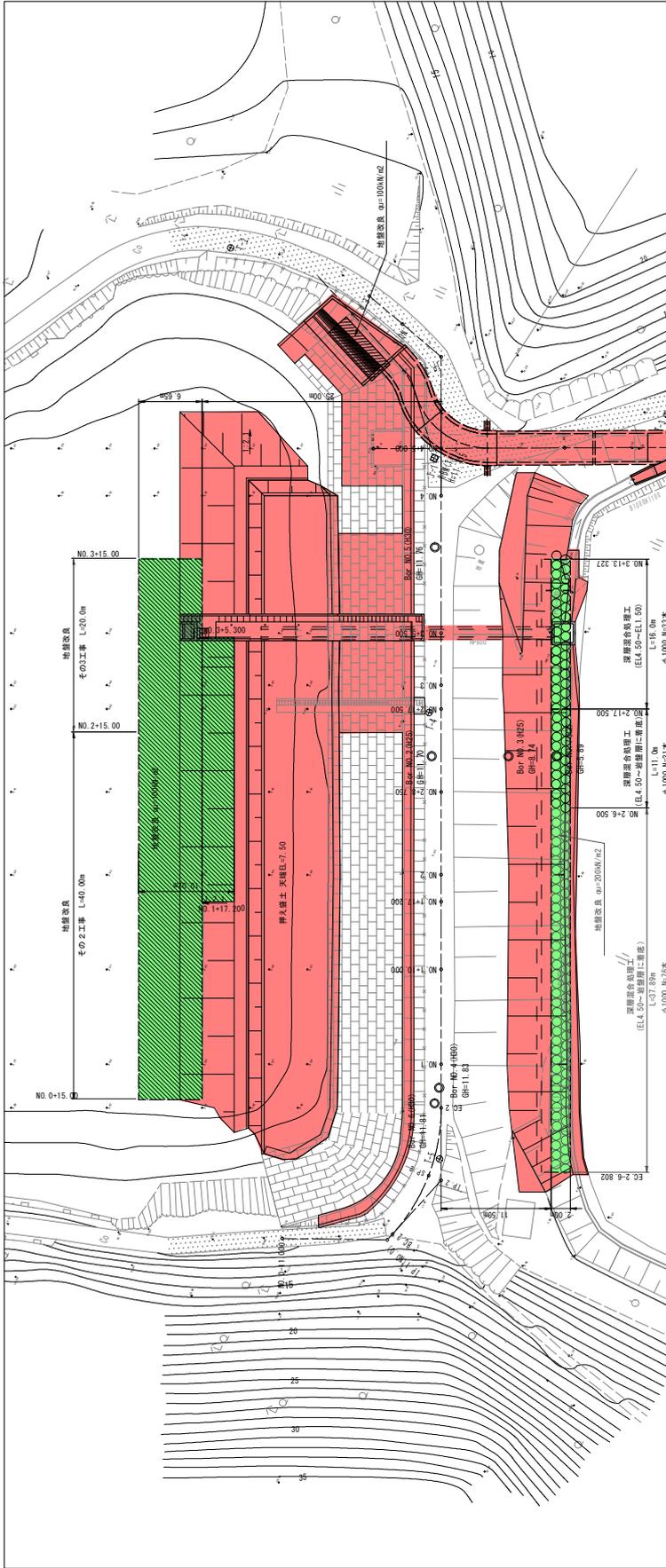
IP. 3
IA=09-38-47



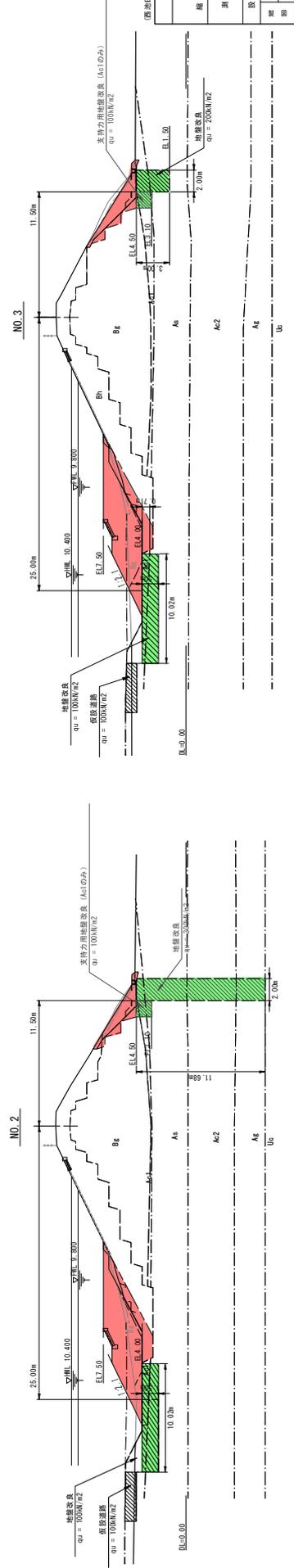
図面の名称		出図番号
計画平面図	縮尺 S:1/250	
測量	測設年月	測設完了
設計		
監理		
備考		
防犯カメラ事業 計画地区		

地盤改良計画図

平面図
S:1/250



断面図
S:1/200

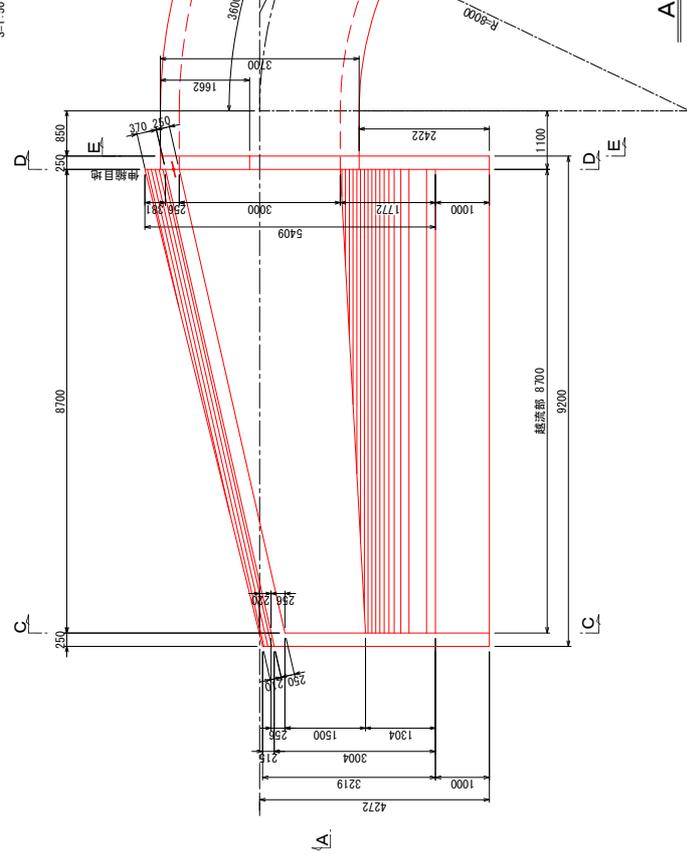


図面の名称	地盤改良計画図
縮尺	図示
測量	令和 年 月 日終了
設計	
監理	
製図	
校核	
承認	

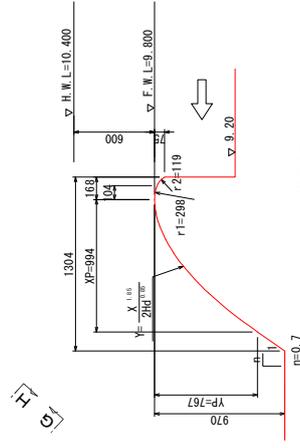
防犯システム事業 防犯地区

洪水吐工構造図(1/4)

平面図 S=1:50



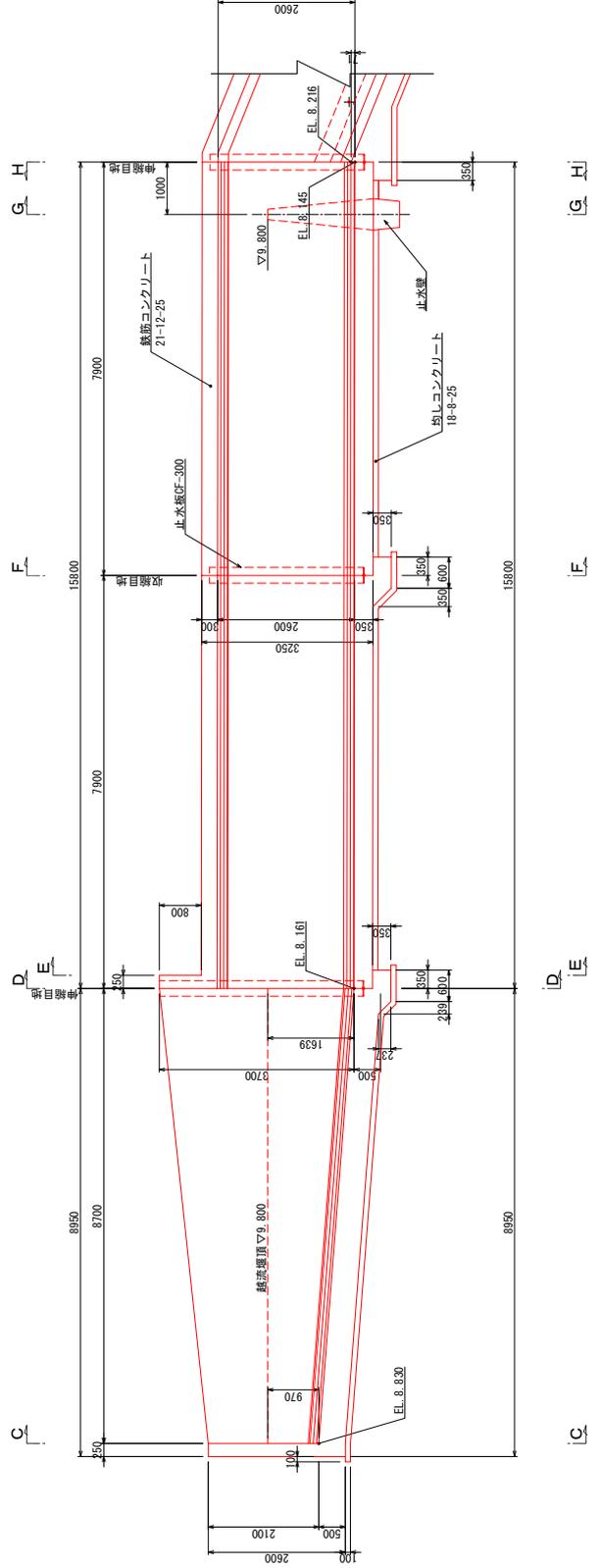
クレスト詳細図 S=1:20



ハロルト曲線座標

XP	YP
1	0.100 0.011
2	0.200 0.040
3	0.300 0.084
4	0.400 0.143
5	0.500 0.215
6	0.600 0.302
7	0.700 0.401
8	0.800 0.514
9	0.900 0.639
10	0.994 0.767

A-A断面図 S=1:50

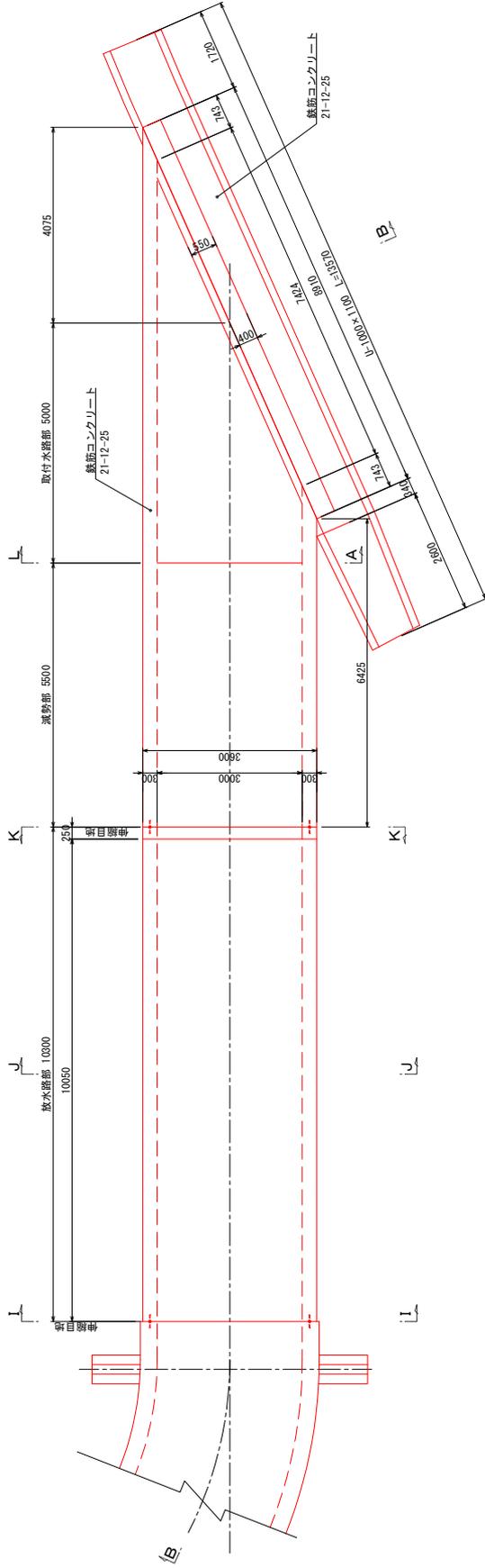


(西津田池)

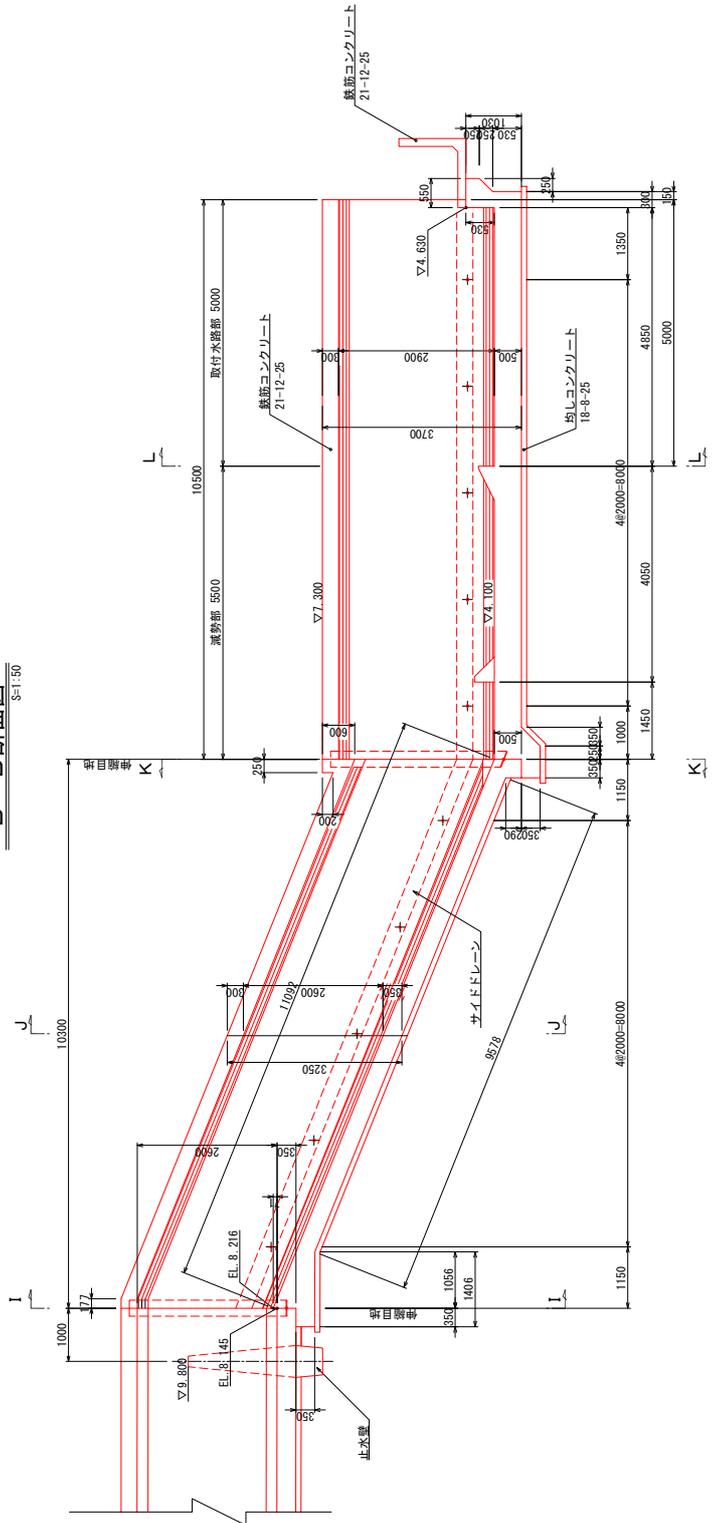
図面の名称	図面番号
洪水吐工構造図(1/4)	
縮尺	図示
縮尺	図示
令和 年 月 日	終了
測量	
設計	
製図	
図様	
防犯工事業 内海地区	

洪水吐工構造図(2/4)

平面図 S=1:50



B-B断面図 S=1:50

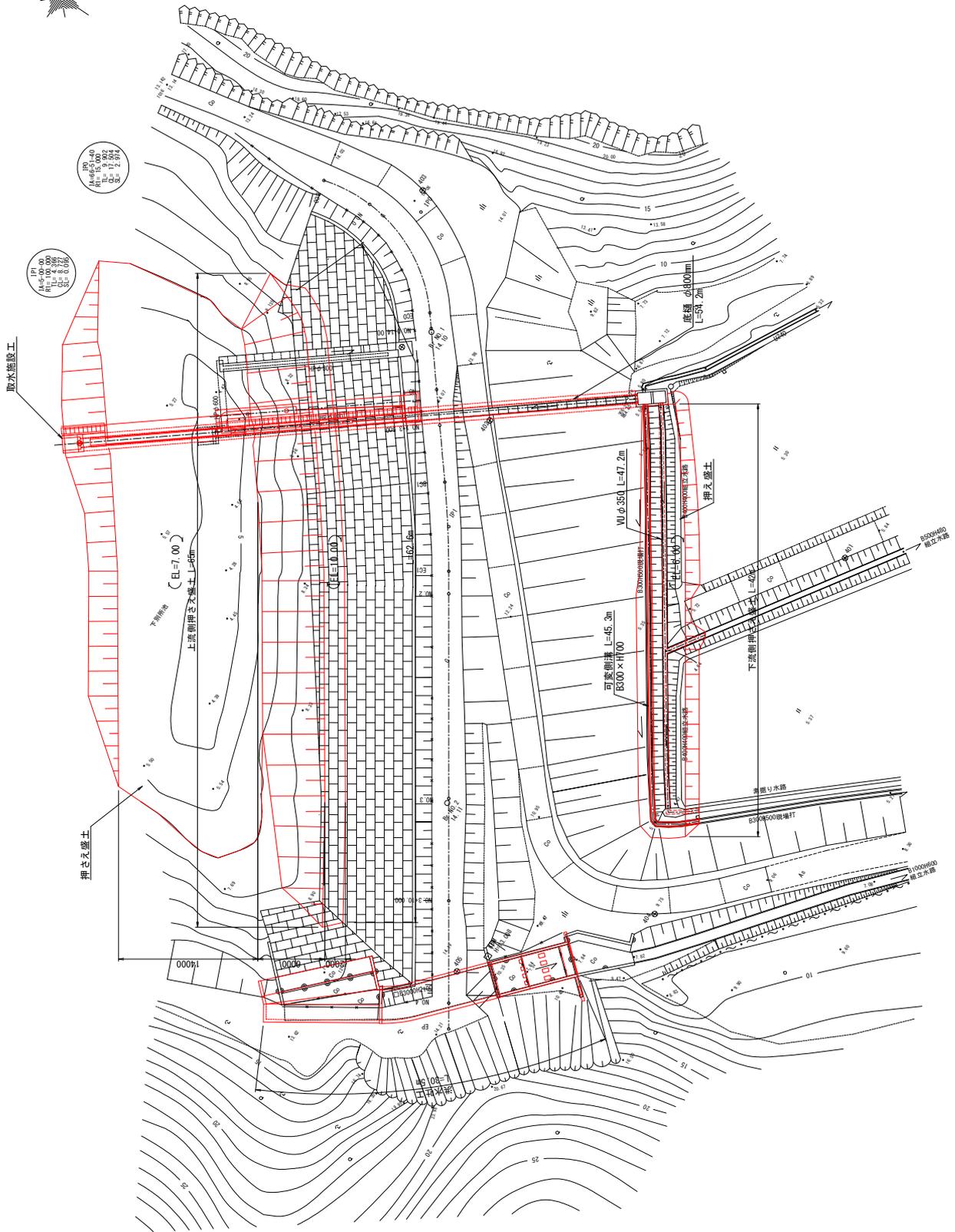
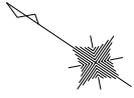


(西海田地)	図面の名称	図面番号
	洪水吐工構造図(2/4)	
	縮尺	図示
	測 量	令和 年 月 日終了
	設 計	
	製 原 図	
	図 様 号	
	防犯ダム事業 内海地区	

2 下別所池 變更前

計画平面図 (下別所池)

S=1:400(A3)



基準点一覧

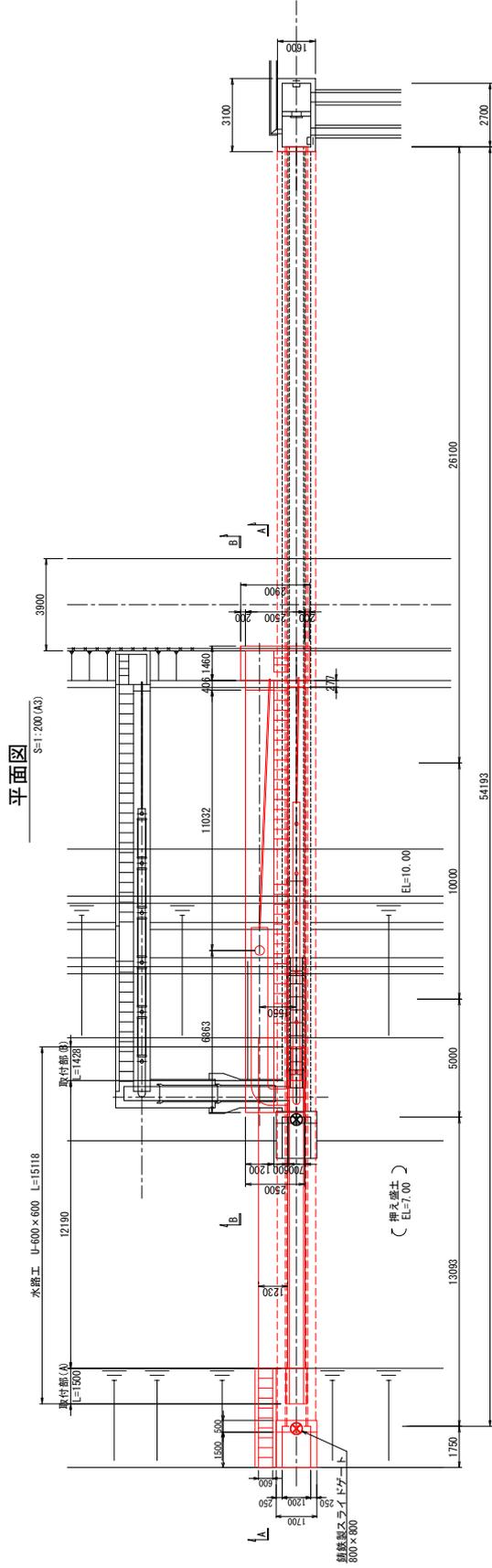
点名	X座標	Y座標	標高
401	463.805	508.273	5.927
402	518.022	514.949	12.082
403	469.119	9.755	9.755
404	472.352	453.689	14.183
405	511.076	501.149	13.288

図面の名称	図面番号
計画平面図 (下別所池)	
縮尺	S=1:400(A3)
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図様写	

土地改良院施設課池沼課事業 知多地区

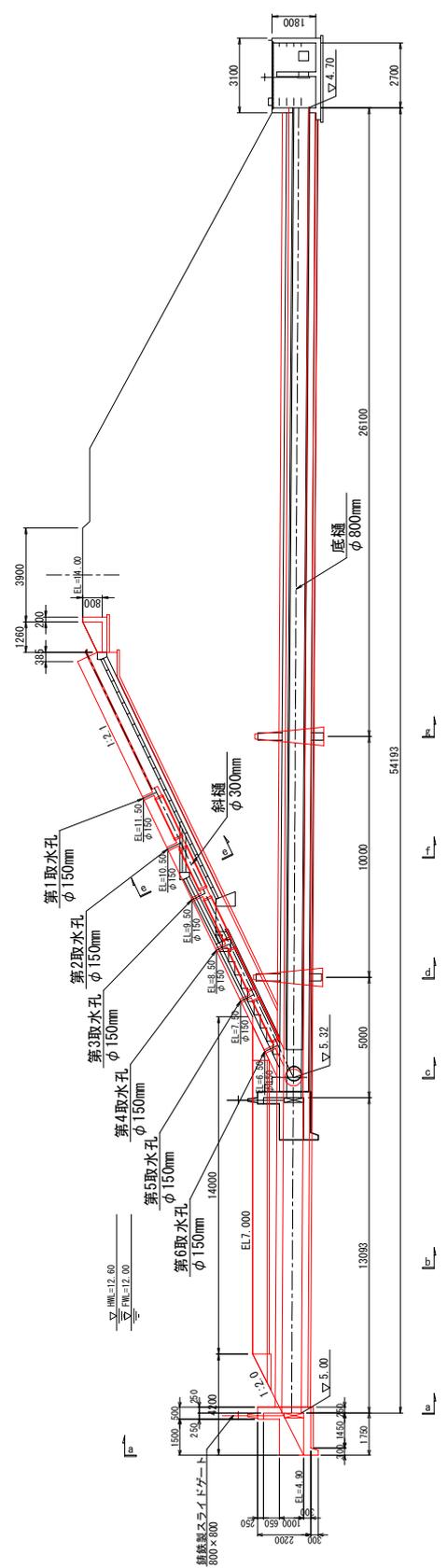
取水工構造図(1/2)

(下別所池)



底樋縦断面図

S=1:200 (A3)



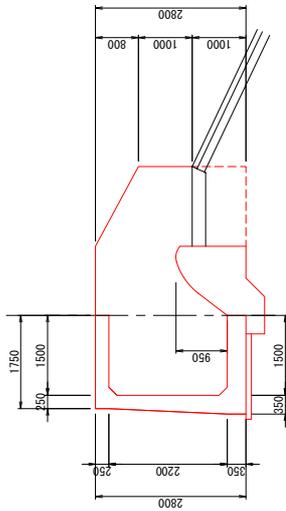
図面の名称	図面番号
取水工構造図(1/2)	
(下別所池)	
縮尺	図示
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	
複写	
土地改良施設整備関係事業 知多地区	

洪水吐構造図 (2/2)

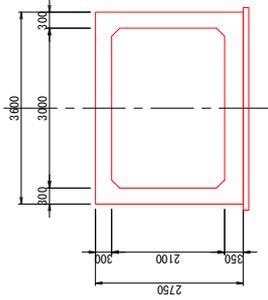
変更前

(下別所池)

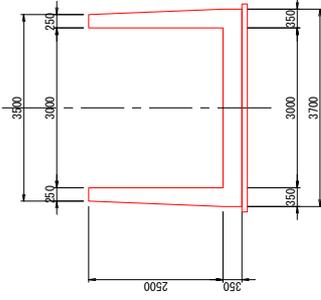
A-A断面
S=1:100(A3)



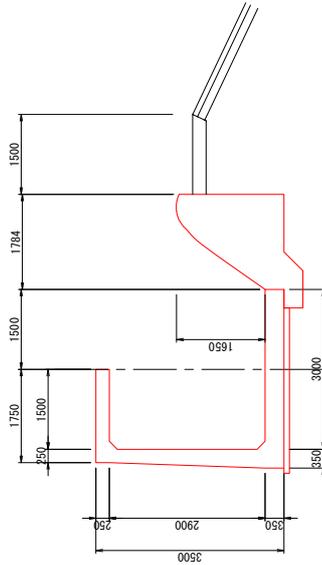
D-D断面
S=1:100(A3)



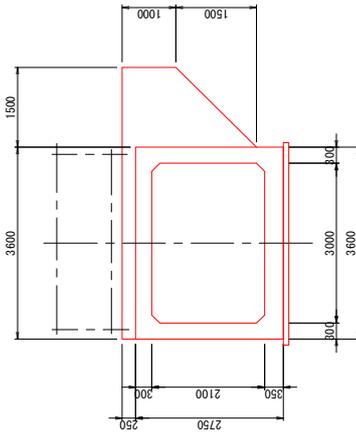
G-G断面
S=1:100(A3)



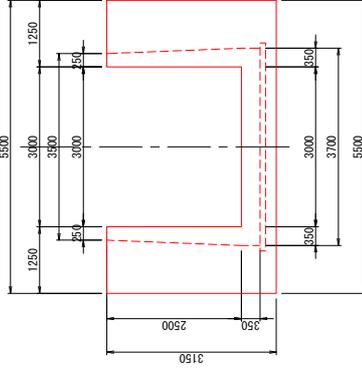
B-B断面
S=1:100(A3)



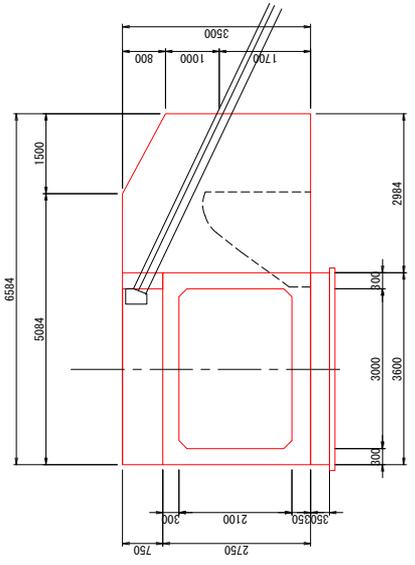
E-E断面
S=1:100(A3)



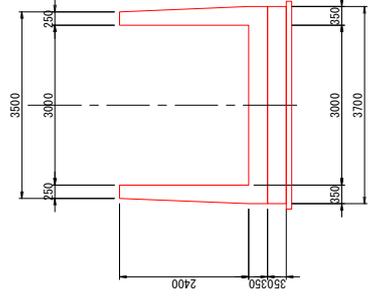
H-H断面
S=1:100(A3)



C-C断面
S=1:100(A3)



F-F断面
S=1:100(A3)



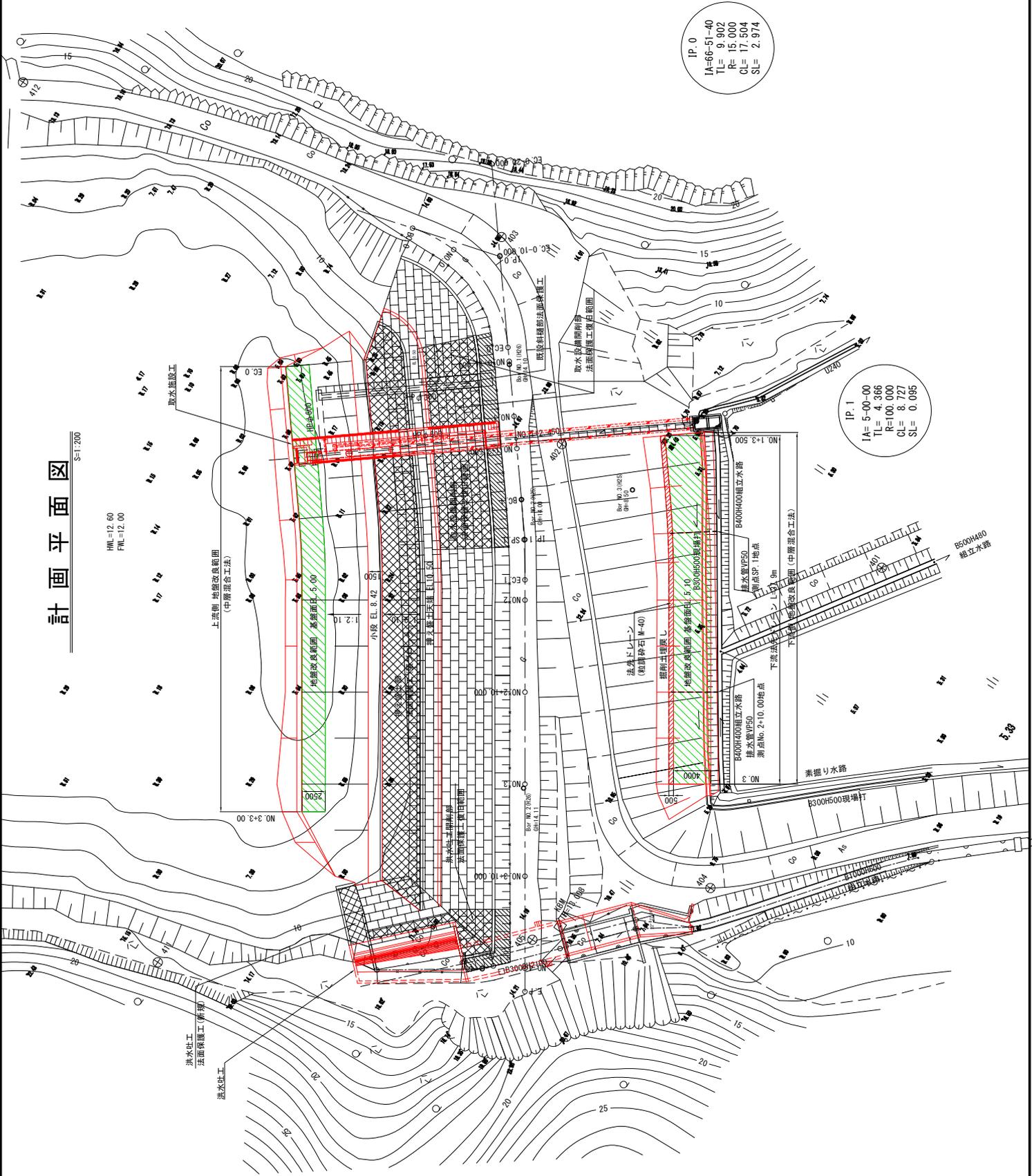
図面の名称	図面番号
洪水吐構造図(2/2) (下別所池)	
縮尺	図示
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	
図様写	
土地改良部建設課の課事業 知多地区	

2 下別所池 変更後

計画平面図

S=1:200

HML=12.60
FWL=12.00



IP. 1
IA= 5-00-00
TL= 4.366
R=100.000
CL= 8.727
SL= 0.095

(下別所地)	
図面の名称	図面番号
計画平面図	
縮尺 S=1:200	令和 年 月 日終了
測量	設計
製図	原図
図様写	
防犯ダム事業 内海地区	

計画標準断面図

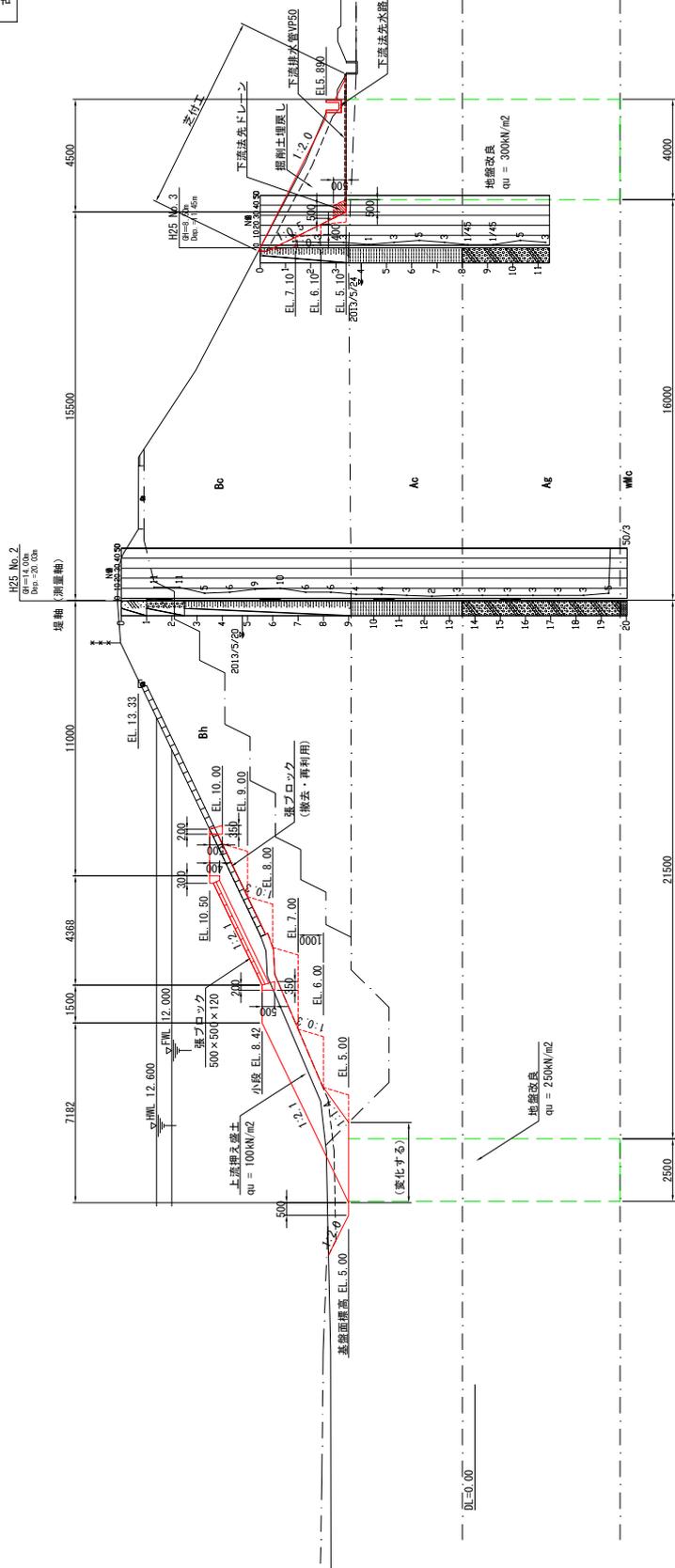
S=1:100

変更後

凡例

地質年代	地層名	土質名	記号	区分
現世	礫土層	礫質土	Bh	刃金土
	礫土層	粘性土	Bc	埋戻土
	沖積層	粘性土	Ac	基礎地盤
第四紀	沖積層	礫質土	Ag	基礎地盤
	風化花崗	軟岩	wMg	基礎面

BC1
GH=14.15
FH=



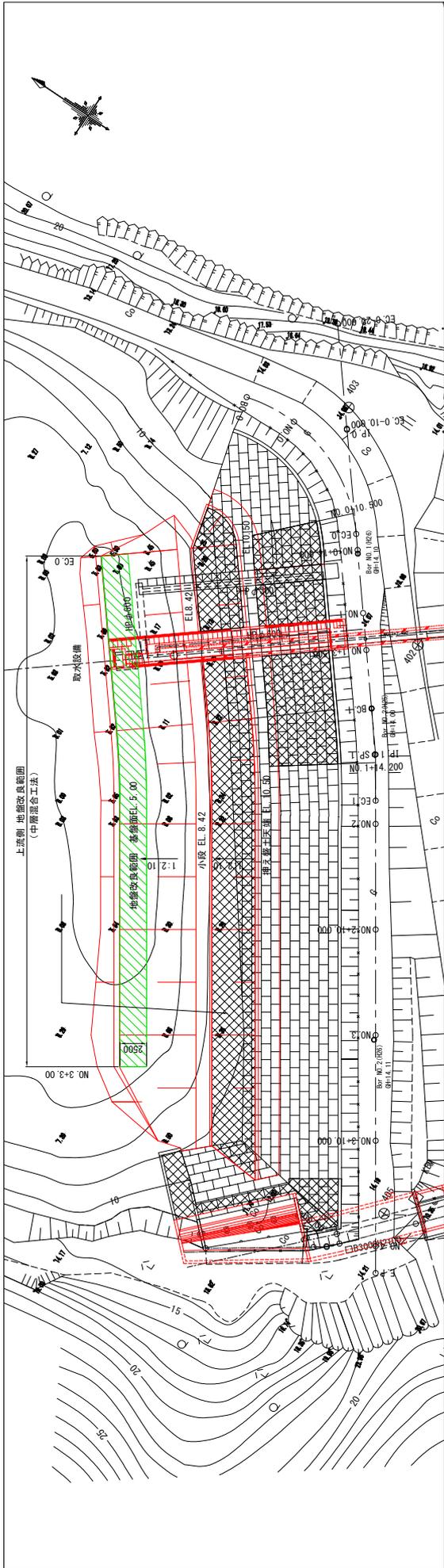
(下別所地)

図面の名称	図面番号
計画標準断面図	
縮尺 S=1:100	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
図様写	
防波ダム事業 内海地区	

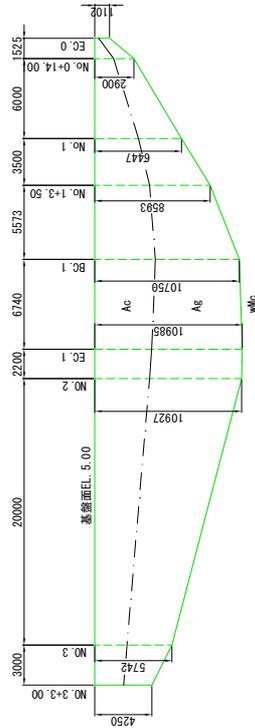
注意事項
 ※支持層 (wMg層) までの改良については、支持層 (wMg層) への層底管理を行うこと。
 ※下流法先トレンチに用いる砕石#40は、0.075mmの精度が90%以下のものを使用すること。

地盤改良工計画図(1/2) (上流側)

平面図
S=1:200

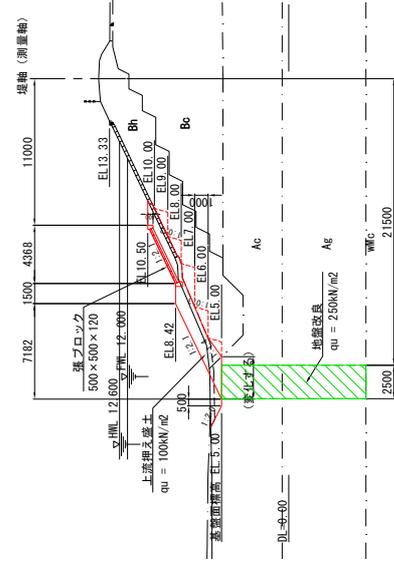


上流地盤改良工縦断面図
S=1:200



深度・地盤境界は、埋設断面図より。
BC. 1, EC. 1間の点間距離は、地盤改良部の平均距離である。

上流側地盤改良工標準断面図
S=1:200



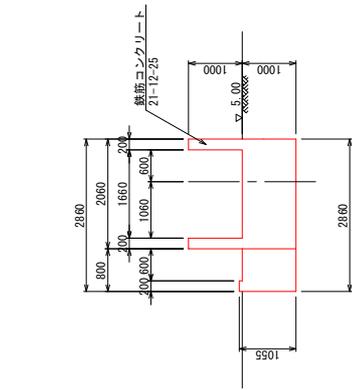
注意事項
※支持層 (wM/C層) までの改良については、支持層 (wM/C層) への着底管理を行うこと。

(下別所地)

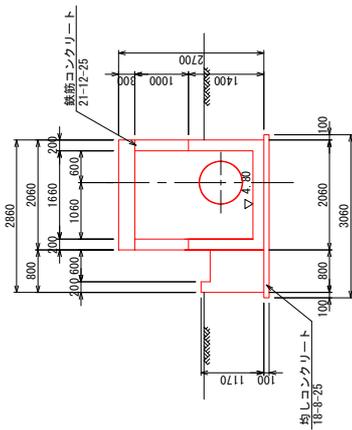
図面の名称	図面番号
地盤改良工計画図(1/2)	
縮尺 S=1:200	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
図様写	
防犯ダム事業 内海地区	

取水施設工構造図(2/5)

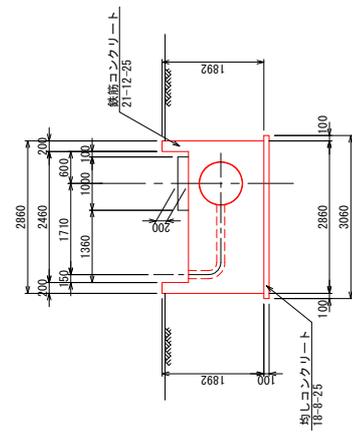
a-a断面
S=1:50



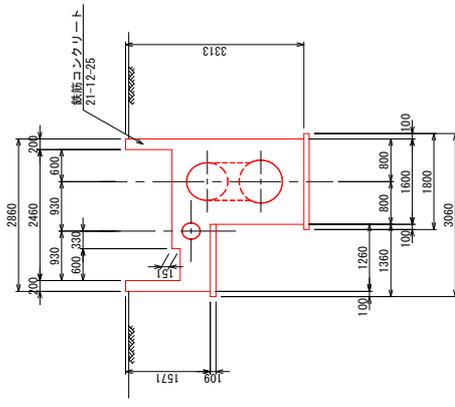
b-b断面
S=1:50



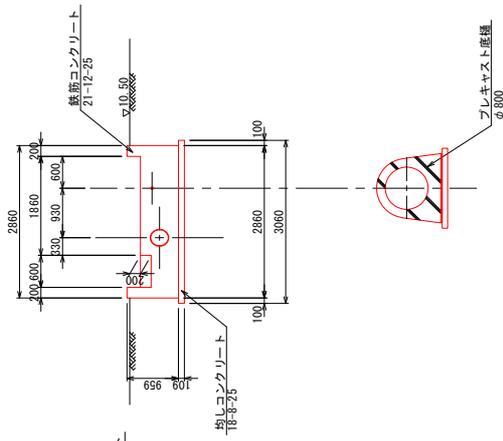
c-c断面
S=1:50



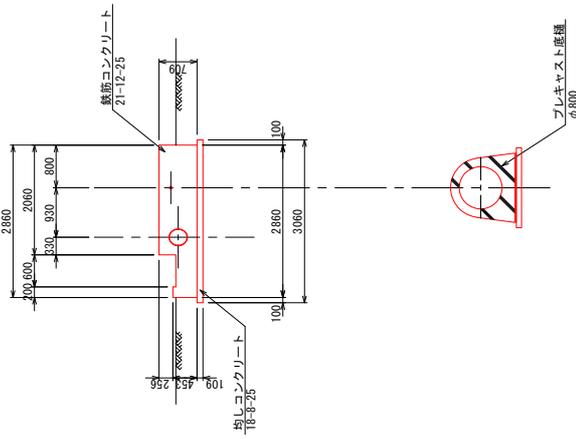
d-d断面
S=1:50



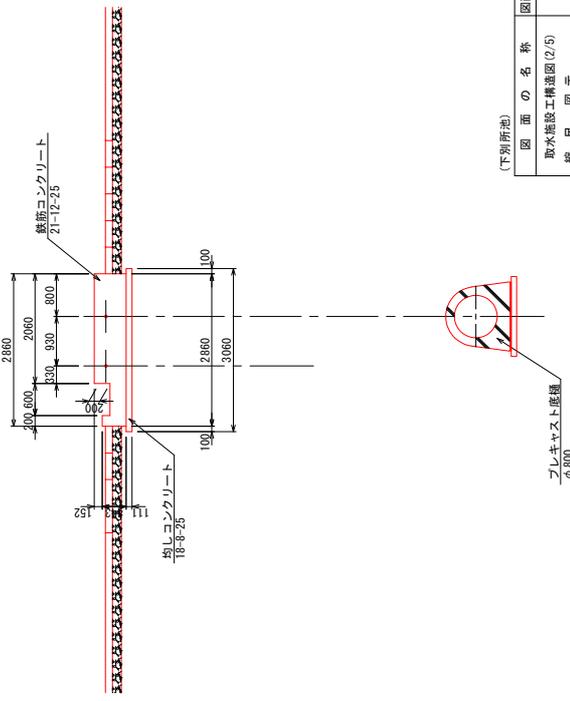
f-f断面
S=1:50



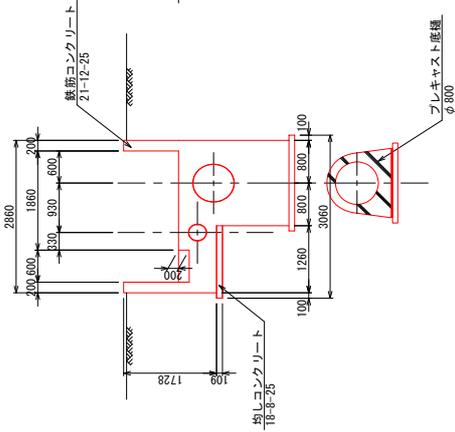
g-g断面
S=1:50



h-h断面
S=1:50



e-e断面
S=1:50



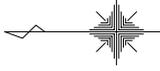
(下別所池)

図面の名称	図面番号
取水施設工構造図(2/5)	
縮尺	図示
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
原図	
図様写	
防波ダム事業 内海地区	

3 阿麻池 变更前

平面図

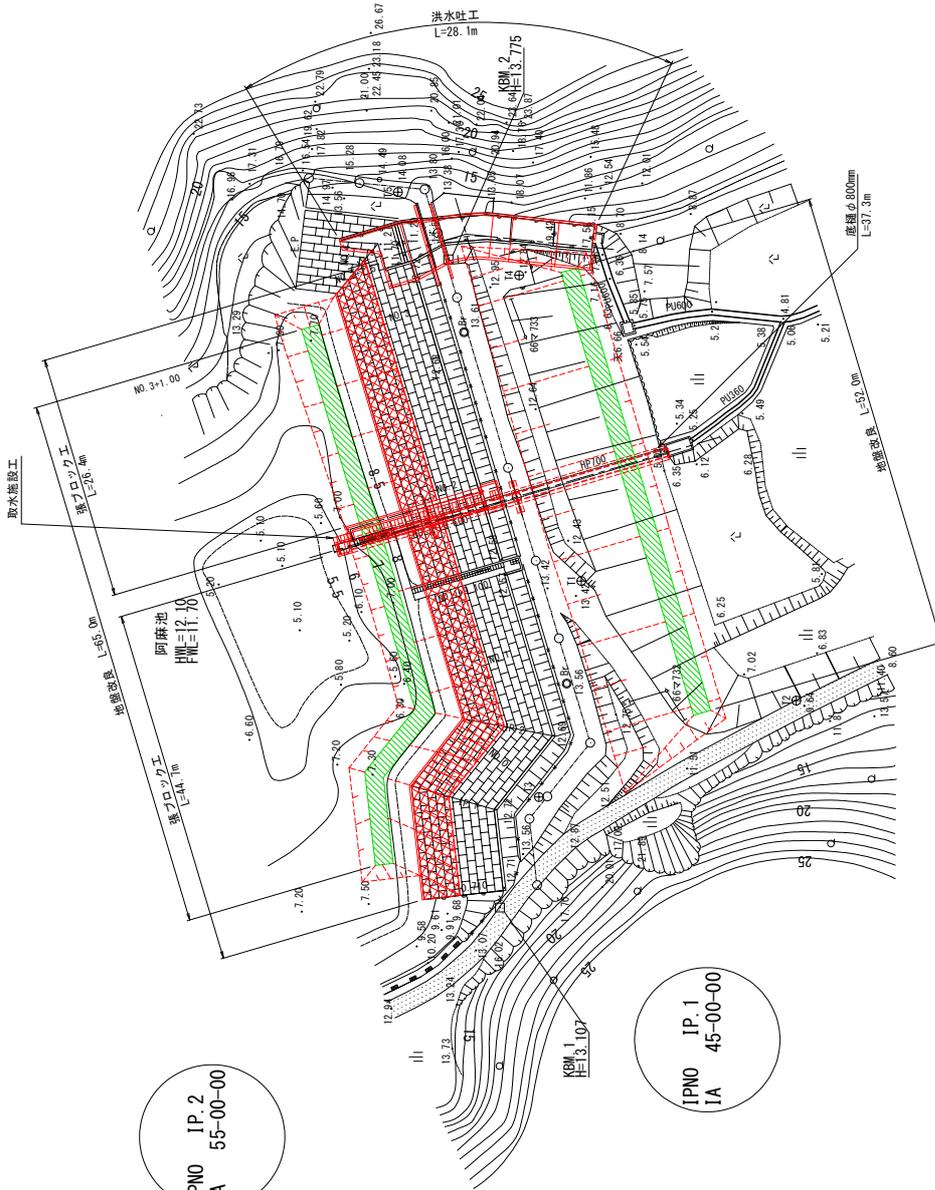
S=1:600 (A3)



IPNO IP.3
IA 67-51-00

IPNO IP.2
IA 55-00-00

IPNO IP.1
IA 45-00-00



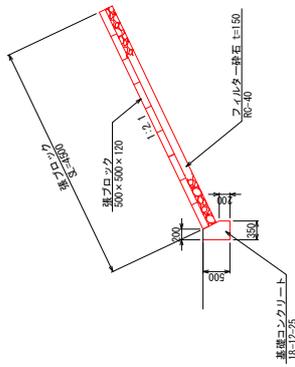
図面の名称	図面番号
平面図 (阿麻池)	
縮尺 S=1:600 (A3)	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図様写	
土地改良経費削減対策事業 知多地区	

阿麻池
堤体工標準断面図

S=1:200(A3)

法面保護工断面図

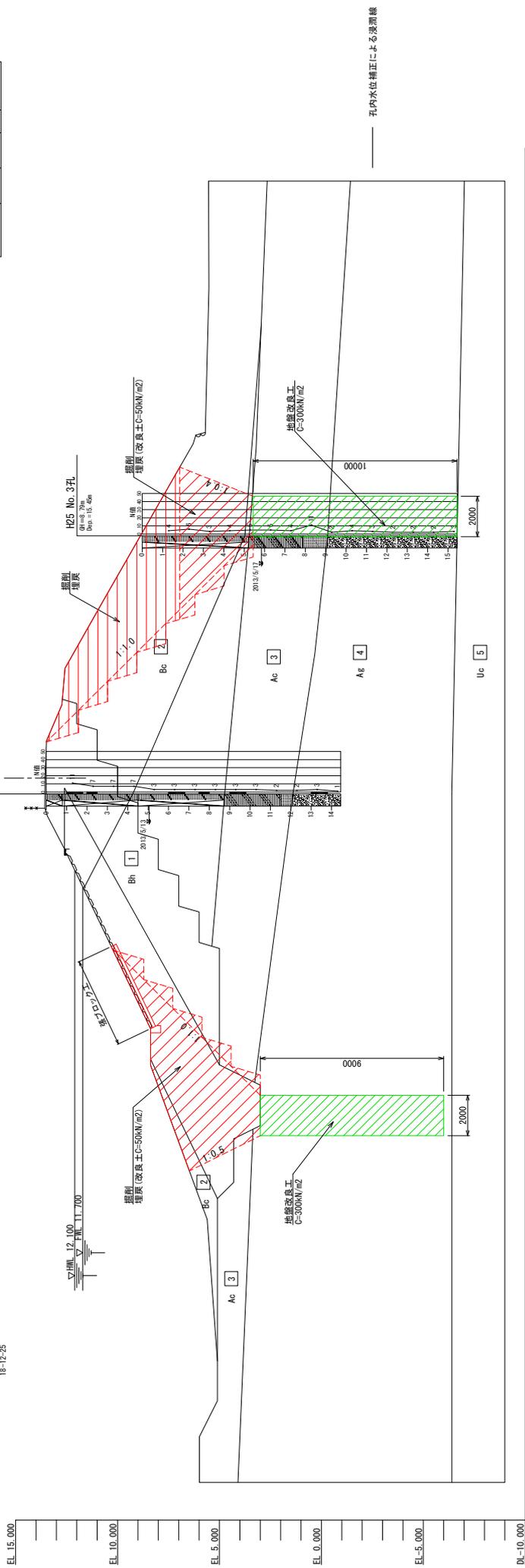
S=1:100(A3)



NO. 2

0.1:0.36
正

凡例	地質年代	地層名	土質名	記号	区分
	現世	盛土層	硬質土	Bh	刃金土
		盛土層	粘性土	Bc	堤体土
	第四紀	沖積層	粘性土	Ac	基礎地盤
		沖積層	硬質土	Ag	基礎地盤
	第三紀	第三紀層	軟岩	Uc	基礎地盤

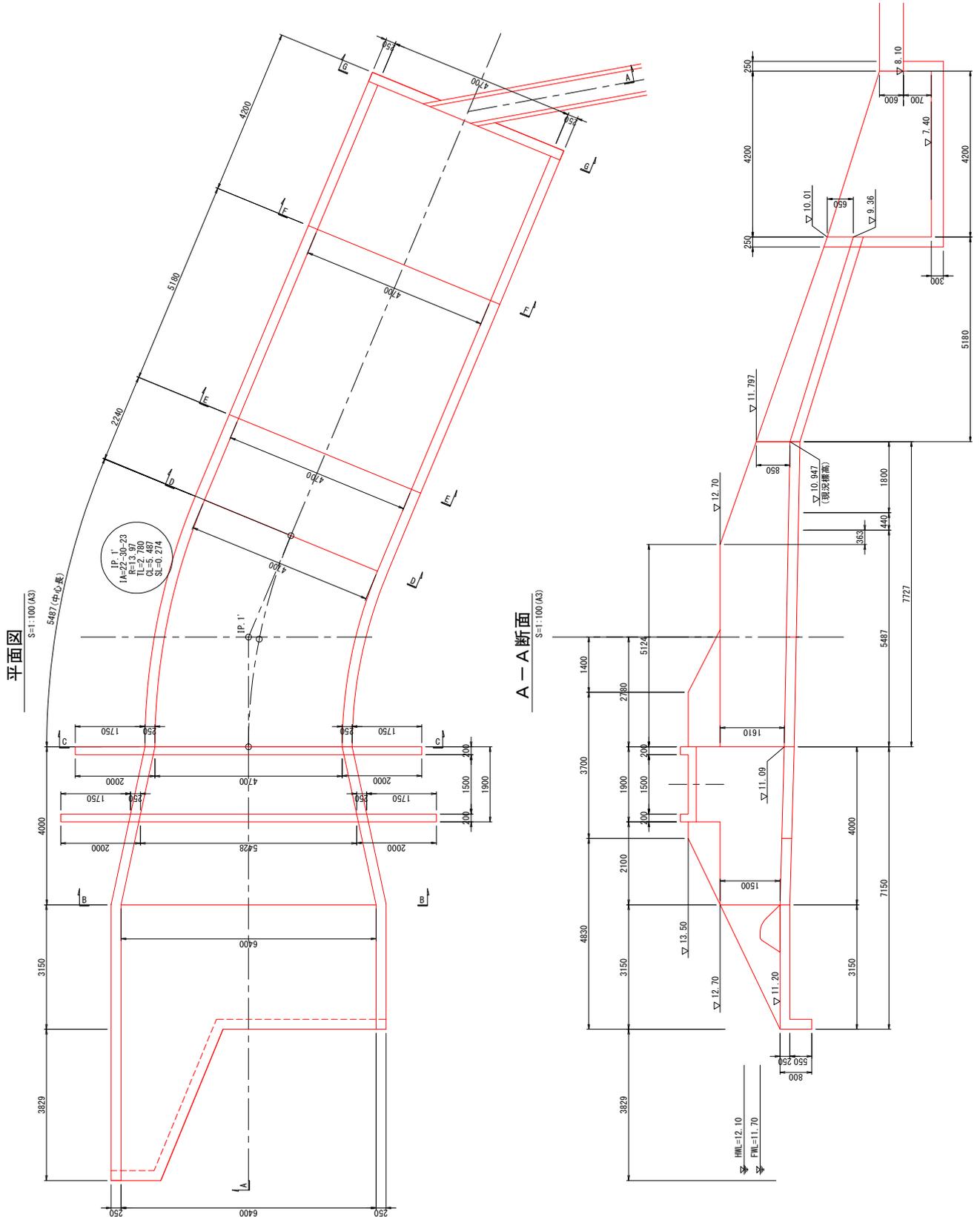


孔内水位補正による浸潤線

図面の名称		図面番号
堤体工標準断面図		
縮尺図示		
測量	平成 年 月 日	終了
設計		
製図		
図様		
土地改良経費削減対策事業 知多地区		

洪水吐構造図(1/2)

(阿麻池)

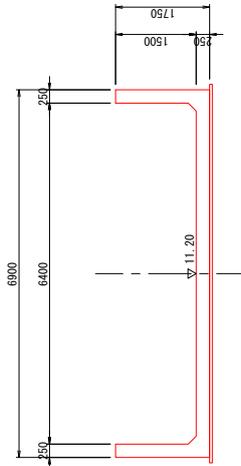


図面の名称	図面番号
洪水吐構造図(1/2)	
縮尺 S=1:100(43)	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図様写	
土地改良施設整備事業 知多地区	

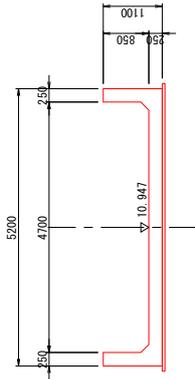
洪水吐構造図 (2/2)

(阿麻池)

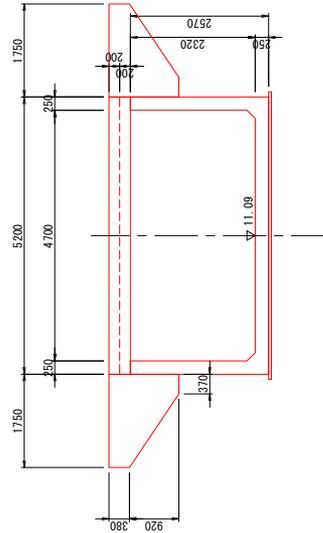
B-B断面
S=1:100 (A3)



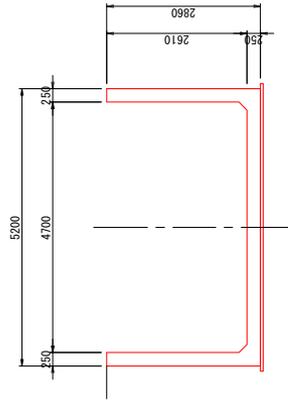
E-E断面
S=1:100 (A3)



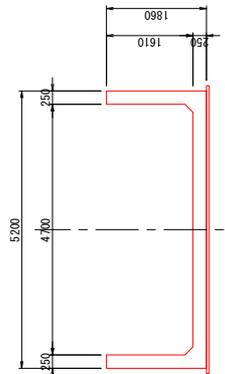
C-C断面
S=1:100 (A3)



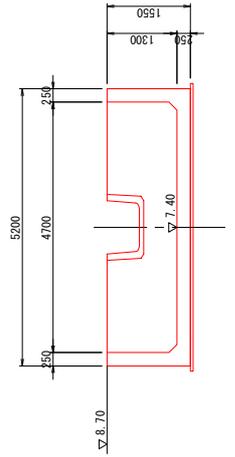
F-F断面
S=1:100 (A3)



D-D断面
S=1:100 (A3)



G-G断面
S=1:100 (A3)

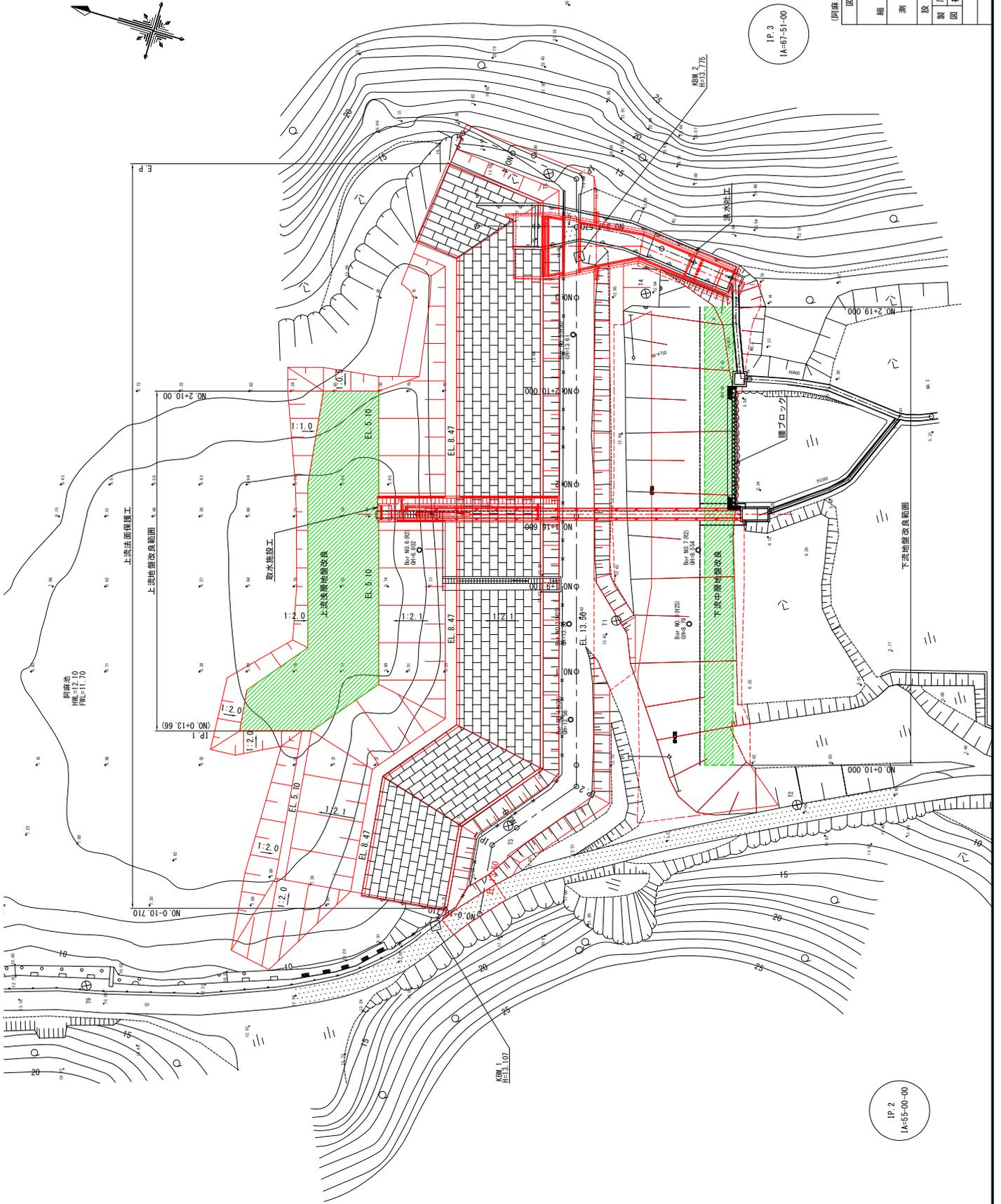


図面の名称	図面番号
洪水吐構造図(2/2) (阿麻池)	
縮尺 S=1:100 (A3)	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	
図様	
図号	
土地改良院福岡支庁測量課 知多地区	

3 阿麻池 變更後

計画平面図

S=1:200



図面の名称	図面番号
計画平面図	
縮尺	S=1:200
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製原図	
図様号	
防犯システム事業 内海地区	

標準断面図

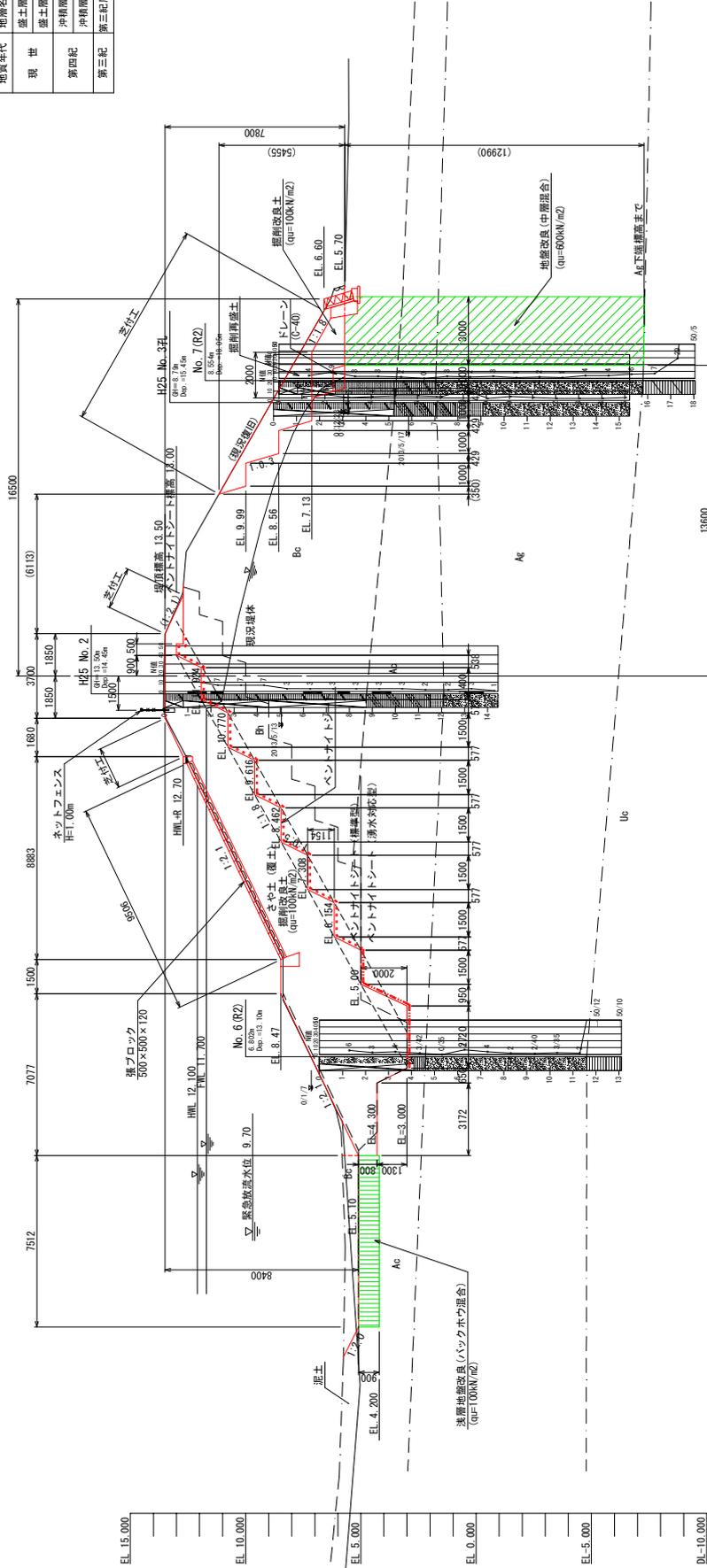
S=1:100

変更後

NO. 2

図-13.35
注

凡例	地質年代	地層名	土質名	記号	区分
	現世	盛土層	礫質土	Bh	刃金土
		盛土層	粘性土	Bc	塊状土
	第四紀	沖積層	粘性土	Ac	基礎地盤
		沖積層	礫質土	Ag	基礎地盤
	第三紀	第三紀層	軟岩	Uc	基礎地盤



特記事項

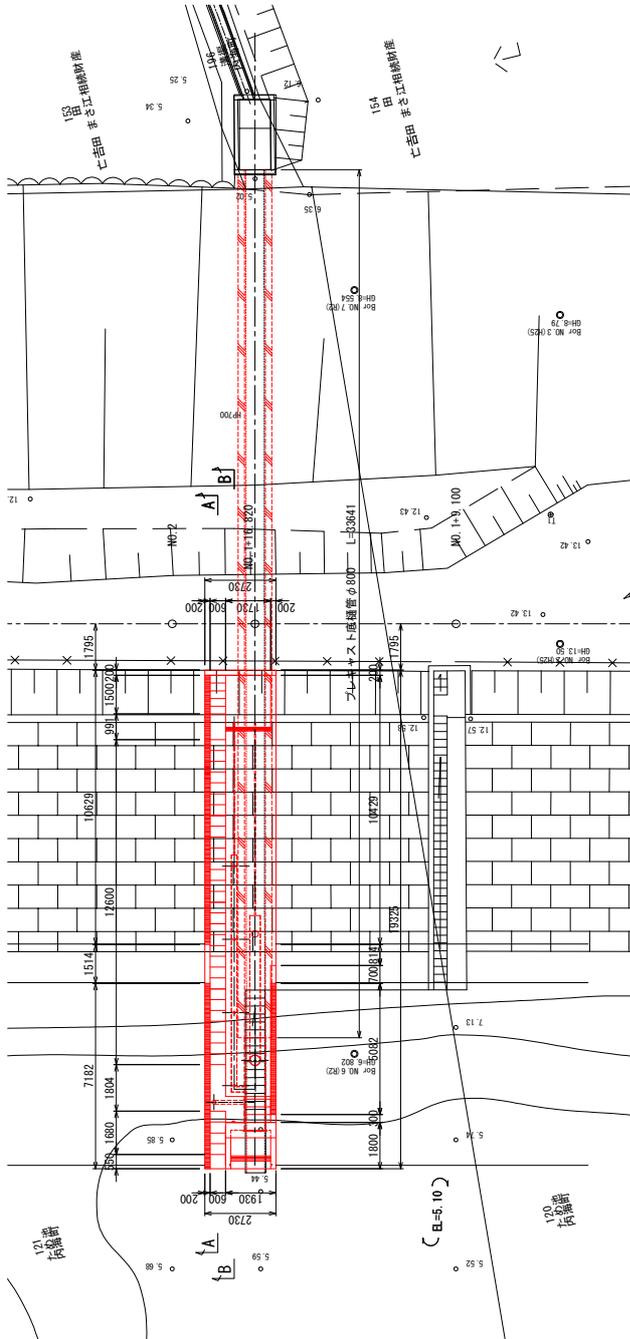
- 1: 上流改良土は、躯体及び海底掘削土を用いて、セメント系固結材を添加し、 $\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$ 以上の密度以上に締固め、一軸圧縮強度 $q_u = 100 \text{ kN/m}^2$ 以上を確保すること。
- 2: 中流改良土は、躯体掘削土を用いて、 D_{50} かつ $\gamma = 17.2 \text{ kN/m}^3$ 以上の密度以上に締固め、 $C = 9.0 \text{ kN/m}^2$ 、 $\phi = 29.8^\circ$ 以上のせん断強度を確保すること。
- 3: 下流改良土は、躯体掘削土を用いて、セメント系固結材を添加し、 $\gamma = 17.2 \text{ kN/m}^3$ 以上の密度以上に締固め、一軸圧縮強度 $q_u = 100 \text{ kN/m}^2$ 以上を確保すること。
- 4: 1, 3の改良土の固結材添加量は、配合試験により決定する。また、六面コラムの浮出がないことを確認すること。
- 5: 上下流改良土の施工は、バックホウあるいは自走式土質改良機を用いて改良土を製造し、締固めを行うこと。
- 6: トレーンは、 $C = 40$ を用いて、締固め $\gamma = 18 \times 100\%$ の密度以上に締固め、 $\phi = 29.8^\circ$ 以上のせん断強度を確保すること。
- 7: なお、 $C = 40$ の現場改良土とフィールド用条件を満足しない場合は、 $C = 40$ を確保すること。
- 8: 土流の現地地盤改良の施工はバックホウにより躯体掘削土を用いて改良土を製造すること。
- 9: 改良土は、セメント系固結材を添加し、一軸圧縮強度 $q_u = 60 \text{ kN/m}^2$ 以上を確保すること。
- 10: バックホウを使用する場合は、配合試験により決定する。また、六面コラムの浮出がないことを確認すること。
- 11: 8, 9の地盤改良の固結材添加量は、配合試験により決定する。また、六面コラムの浮出がないことを確認すること。
- 12: ペントナイトの取扱は、「兵庫県ペントナイトシート設計・施工マニュアル」に準拠すること。
- 13: 中流地盤改良の深さは想定であり、軟弱層(Uc)への着底管理を行うこと。

図面の名称		図面番号
標準断面図	縮尺	S=1:100
測量	令和	年 月 日 終了
設計	製図	
製図	複写	
防災ダム事業 内湖地区		

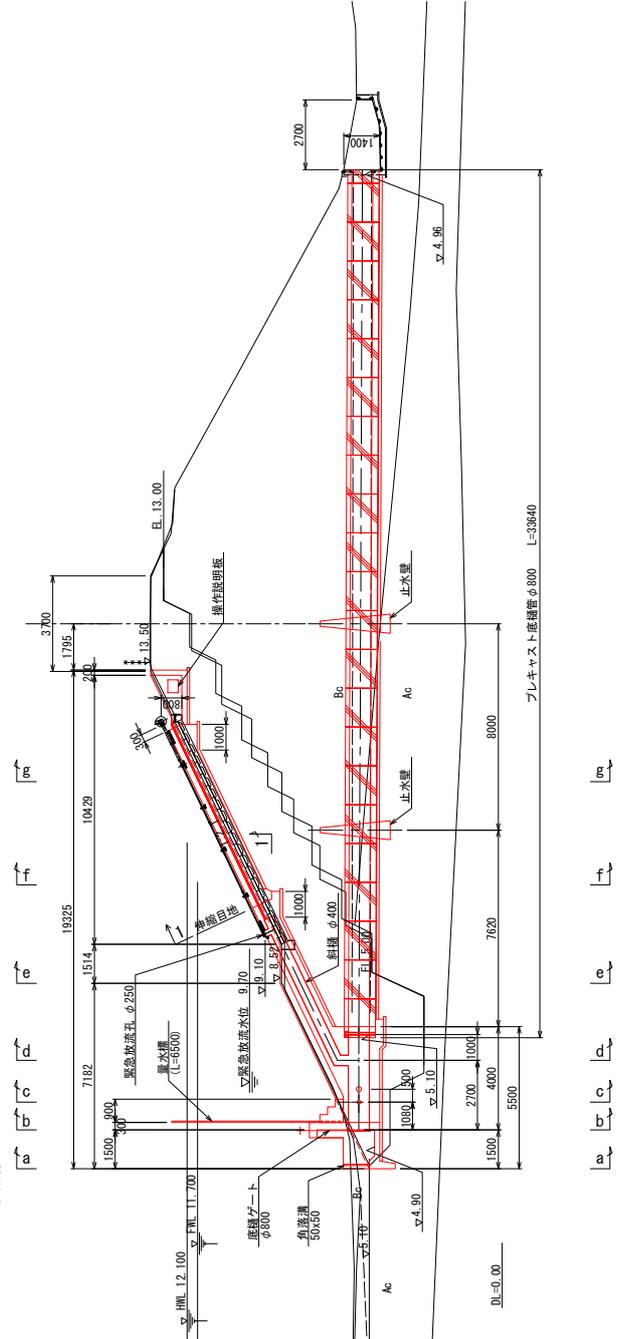
取水施設工構造図(1/4)

変更後

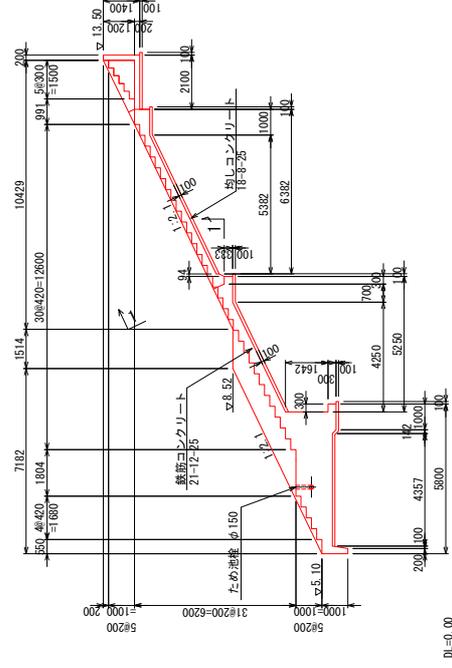
平面図 S=1:100



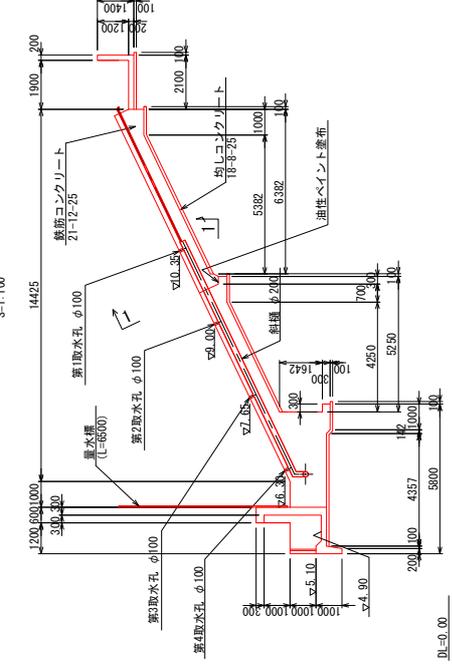
縦断面図 S=1:100



A-A断面図 S=1:100



B-B断面図 S=1:100



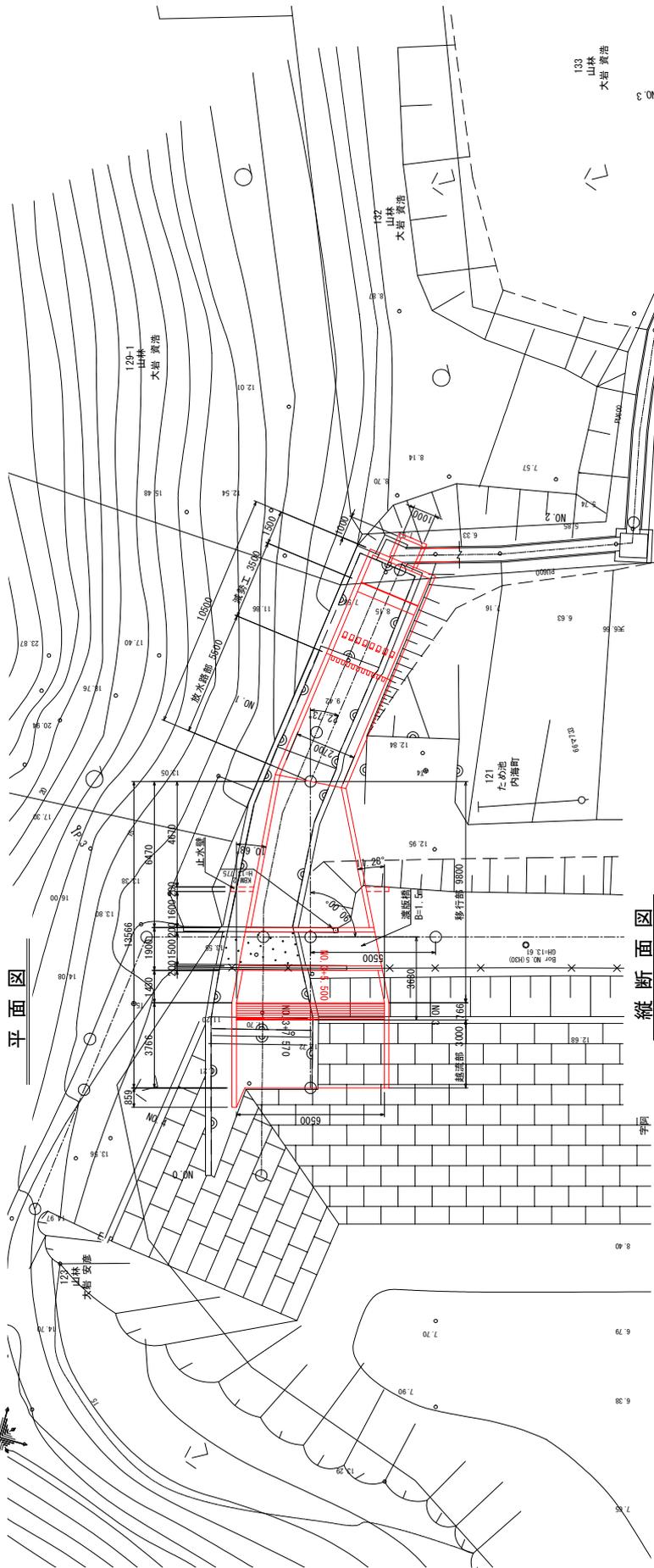
注意事項
 1 躯体前面田代金土箱、止水壁刃及び壁頂上部30cmまでは
 刃金土により埋戻を行うことを原則とし、詳細は監理員
 と協議を行うこと。
 2 基礎の基礎地盤については、 $q=164, 78kN/m^2$ 以上の地盤支持
 力を確認すること。

(阿麻池)

図面の名称	図面番号
取水施設工構造図(1/4)	
縮尺	図示
測 量	令和 年 月 日 終了
設 計	
製 図	
複 写	
防災ダム事業 内湖地区	

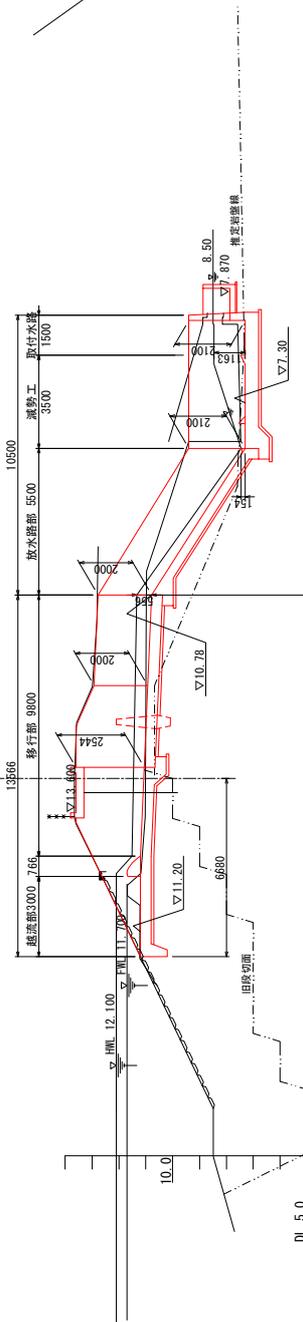
洪水吐工一般図

S=1:100

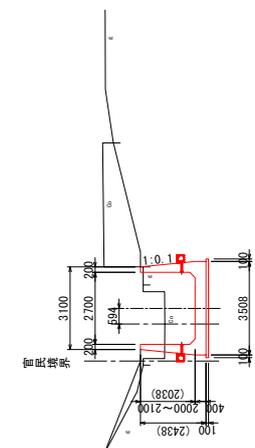


平面図

縦断面図



横断面図



勾配	計 洪水時水位	画 水路天端高	水路底高	現 追加距離	単 距離	曲 線
	11.200	11.200	11.200	0.000	2.880	(1.200)
	11.510	11.510	11.510	3.766	2.766	(1.390)
	12.790	12.790	12.790	9.800	13.566	(10.779)
	14.500	14.500	14.500	5.500	19.066	(7.300)
	15.000	15.000	15.000	3.500	22.566	(7.300)
	15.500	15.500	15.500	1.500	24.066	(7.300)

注意事項
 1. 洪水吐工の基礎地盤については、現地にて下記以上の地盤支持力を確認すること。
 積算部・移行部 $q=30.30kN/m^2$
 放水部 $q=30.70kN/m^2$
 減勢工 $q=43.81kN/m^2$

図面の名称	洪水吐工一般図
縮尺	S=1:100
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
図様	
図面番号	

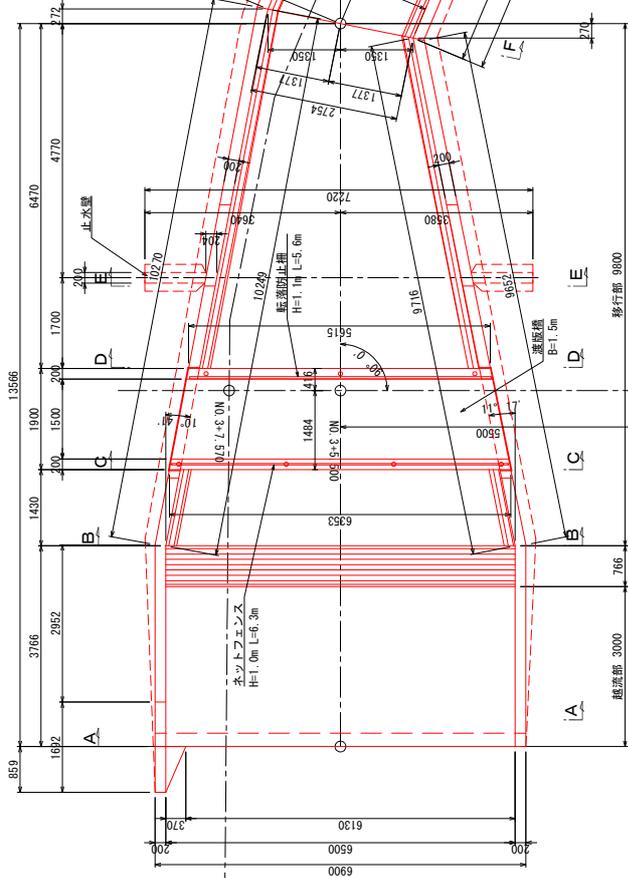
防犯システム事業 内海地区

洪水吐工構造図(1/5)

S=1:50

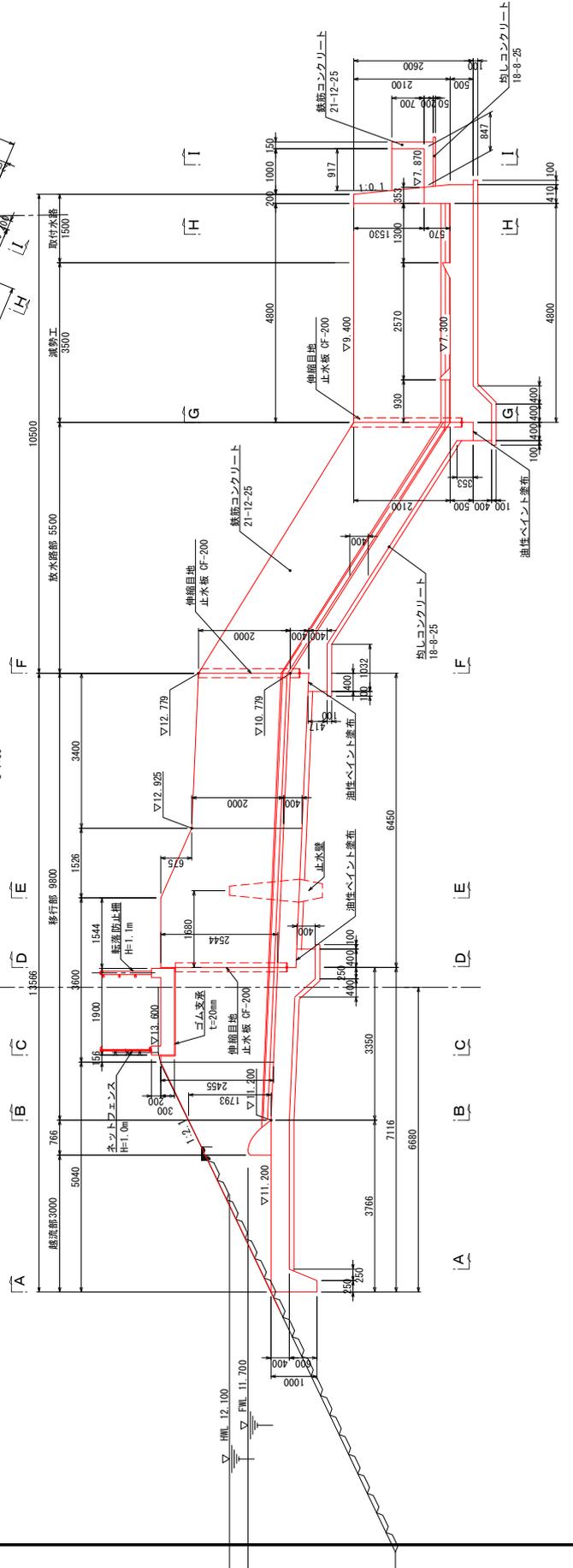
平面図

S=1:50



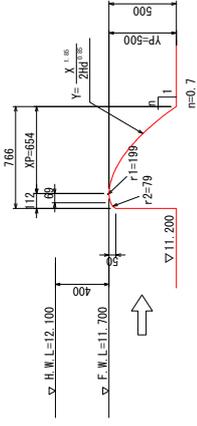
縦断面図

S=1:50



クレスト詳細図

S=1:20



XP	YP
1	0.100 0.015
2	0.200 0.056
3	0.300 0.118
4	0.400 0.201
5	0.500 0.304
6	0.600 0.426
7	0.654 0.500

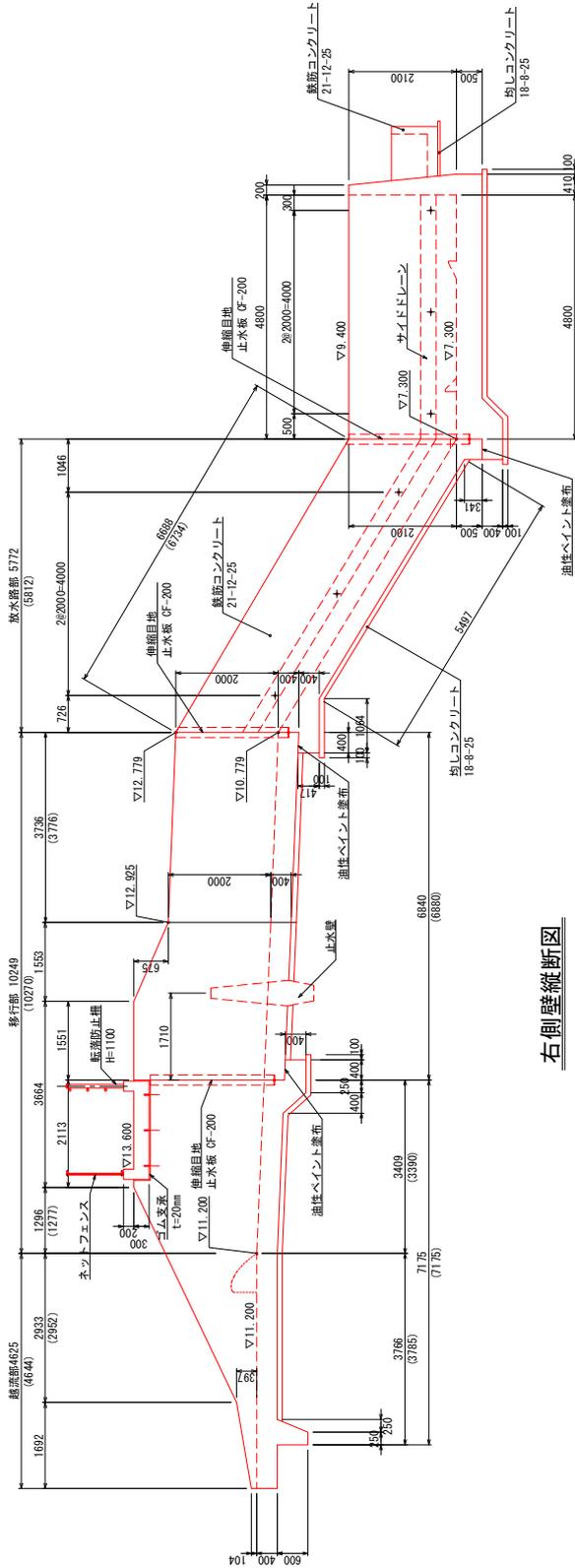
図面の名称		図面番号
洪水吐工構造図(1/5)		
縮尺	図示	
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図		
図様		
防波ダム事業 内海地区		

洪水吐工構造図(2/5)

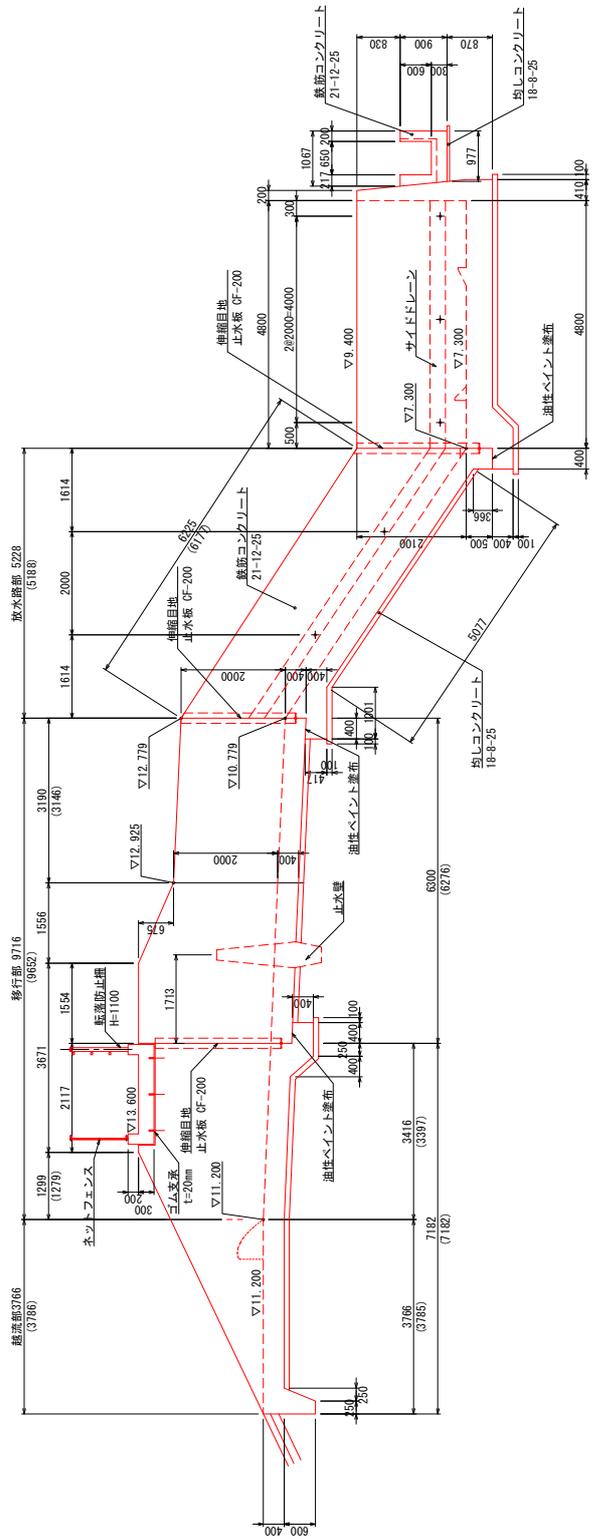
S=1:50

変更後

左側壁縦断面図



右側壁縦断面図



1. () 内寸法表示は側壁外側を示す。
() 表記ない場合は断面と同じである。

図面の名称		図面番号
洪水吐工構造図(2/5)		
縮尺	図示	
測 量	年 月	日 終 了
設 計		
製 図		
図 複 写		
防災ダム事業 内浦地区		

【Ⅱ】 県営土地改良事業によって造成される土地改良施設の予定管理方法

1. 管理者

南知多町

2. 管理すべき施設の種類

本事業において改修された、ため池施設及びこれに付帯する施設。

3. 貯水、放流、取水または排水に関する基本的事項

管理者の定める規程による。

4. 管理に要する費用の概算及び負担方法

(1) 費用の概算

	(258)
年間管理費	約 291千円

※ただし物価の変動等により経費は増減することが考えられる。

(2) 費用の負担方法

必要経費は、管理者の定める規程により負担する。

5. その他管理方法に関する基本事項

管理者が別に定める規程による。

**【Ⅲ】 県営土地改良事業（内海地区）における事業費及び事務的経費の負担区分の
予定並びに地元負担の予定基準**

1. 事業に要する費用

	(558,800)
費用	1,309,000 千円
	(522,000)
事業費 ※1)	1,247,000 千円
	(36,800)
事務的経費 ※2)	62,000 千円

(平成30年度及び令和元年度)

(令和6年度及び令和7年度単価。消費税については10%にて算定。ただし、物価変動により将来変動することがある。)

※1) 事業費とは事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2) 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号（設）農林水産省 構造改善局長通知により定められた事務費、工事雑費

2. 負担区分の割合

(単位:%)

事業の種類	事業費		国庫負担		県負担		町負担	
	金額(千円)	率(%)	金額(千円)	率(%)	金額(千円)	率(%)	金額(千円)	率(%)
事業費	(522,000)		(287,100)	55	(203,580)	39	(31,320)	6
	1,247,000		685,850		486,330		74,820	
事務的経費	(36,800)		—	—	(36,800)	100	—	—
	62,000				62,000			
計	(558,800)		(287,100)		(240,380)		(31,320)	
	1,309,000		685,850		548,330		74,820	

3. 土地改良法第91条の規定による負担金の納入方法

本事業の施行に係る地域の南知多町は、土地改良法(昭和24年法律第195号)第91条第6項の規定により、本事業によって受ける利益を限度として、これに相当する金額を愛知県に対し負担する。

4. 地元負担の予定基準

該当なし

5. 特別徴収金

該当なし